お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

[弊社製品に関するお問い合わせ]
お客様相談センター **ナビダイヤル 0570-001313**
（市内通話料でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS の方は、右記の電話番号をご利用ください。 **☎03-3960-3200（代）**

〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

営業時間 午前 9：00 ～午後 6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[ショールーム・写真展・修理受付]
ペンタックスフォーラム **☎03-3348-2941（代）**

〒 163-0401 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）

営業時間 午前 10：30 ～午後 6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

[ペンタックスファミリーのご案内]
「写真をもっと楽しむために …」
ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の全国的な写真クラブです。会員の方には、年 4 回発行の機関誌「Pentax Family」や年 1 回発行の「ペンタックス写真年鑑」などの刊行物をお届けするほか、写真セミナーなどのイベントへの参加や修理料金の会員割引等の様々な得点をご用意しております。あなたも「ペンタックスファミリー」で素晴らしい写真の世界をお楽しみください。

ペンタックスファミリー事務局 **☎03-3960-5740（代）**

〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
営業時間 午前 9：00 ～午後 5：30（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
ペンタックスファミリーホームページアドレス http://www.pentax.co.jp/family/

ユーザー登録のお願い
お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますようお願い申し上げます。
付属のCD-ROMと弊社ホームページから登録が可能です。同梱の「PC接続ガイド」（表面右下）をご参照ください。

ペンタックス株式会社
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57639
01-200601
Printed in Philippines

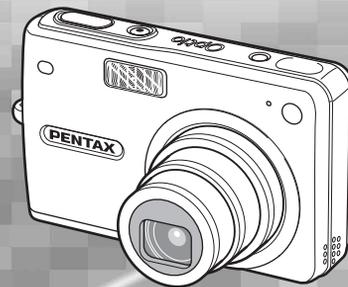
Optio A10

PENTAX®

デジタルカメラ

Optio A10

使用説明書

HI-SPEED CERTIFIED USB
PictBridge

カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、Optioおよびオプティオ、smc PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。

SDロゴは商標です。

「微反射」はソニー株式会社の登録商標です。

その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching III より前の規格に対応したプリンターでは、一部機能が反映されません。PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

PictBridgeについて

「PictBridge」は、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

 警告　このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

 注意　このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

- カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプターをご使用になったり、専用のACアダプターを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池またはACアダプターを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- 充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8以外は充電しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こしたときは、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目についたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

バッテリー充電スタンドとACアダプタについて

⚠ 警告

- 指定された電源以外の電圧で使用しないでください。指定以外の電源・電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- カメラをバッテリー充電スタンドに載せる前に、バッテリー充電スタンドの接続端子部分が汚れていないか確認してください。ゴミや液体が付いていると発熱・火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。

⚠ 注意

- AC コードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、AC コードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- バッテリー充電スタンドをお使いにならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電スタンドで充電式リチウムイオンバッテリーD-LI8以外の電池は充電しないでください。他の電池を充電しようとすると、発熱や、充電スタンドの故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により撮影や再生、パソコン等への転送ができなかった場合、画像や音声など記録内容の保証については、ご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.23）をご覧ください。

- SDメモリーカードや内蔵メモリーに記録されたデータは、カメラやパソコンなどの機能を用いて消去やフォーマットを行っても、市販の修復ソフトを使用すると再び取り出せることがあります。データの取り扱いや管理はお客様の責任において行ってください。
- 本製品に付属しているACコードD-CO2Jは、バッテリー充電スタンドD-BC42専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニターが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

LED安全基準について
この装置は、LEDに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1適合のデジタルスチルカメラです。

ユーザー登録のお願い
お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますようお願い申し上げます。
付属のCD-ROMと弊社ホームページから登録が可能です。同梱の「PC接続ガイド」（表面右下）をご参照ください。

目次

録音・再生 97

再生・消去・画像編集 102

設定 141

付録 156

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備 ――――――――――――――――――――――――――――

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行ってください。

2 クイックスタート ―――――――――――――――――――――――

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。

3 機能共通操作 ―――――――――――――――――――――――――

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「録音・再生」「再生・消去・画像編集」「設定」の各章をご覧ください。

4 撮影 ――――――――――――――――――――――――――――

さまざまな撮影の方法や、撮影シーンに合わせた撮影モード画面の設定方法など、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 録音・再生 ――――――――――――――――――――――――――

音声だけの録音や画像に音声を追加する方法、再生のしかたを説明しています。

6 再生・消去・画像編集 ―――――――――――――――――――――

カメラ・テレビでの再生の方法や消去のしかた、画像サイズの変更やトリミングの方法、直接プリンターにつないでプリントする方法などを説明しています。

7 設定 ――――――――――――――――――――――――――――

カメラに関する機能の設定方法について説明します。

8 付録 ――――――――――――――――――――――――――――

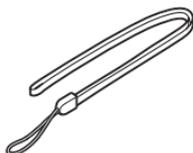
困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

1
2
3
4
5
6
7
8

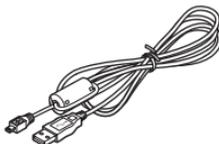
操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

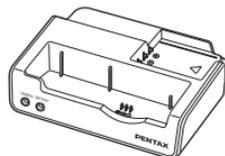
記号	意味
☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

主な同梱品の確認

本体
Optio A10

ストラップ
O-ST20（※）

ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW42

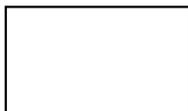
AVケーブル
I-AVC7（※）

USBケーブル
I-USB17（※）

充電式リチウム
イオンバッテリー
D-LI8（※）

バッテリー充電スタンド
D-BC42（※）

ACコード
D-CO2J

使用説明書
（本書）

使用説明書
（PC接続ガイド）

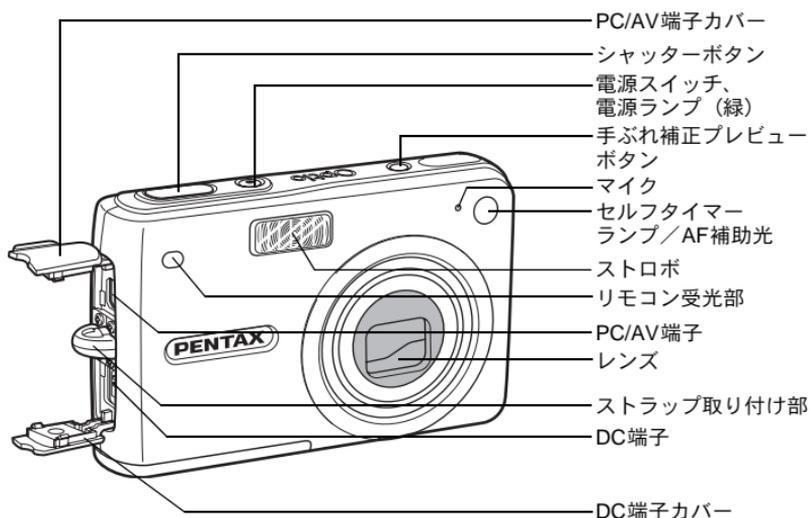
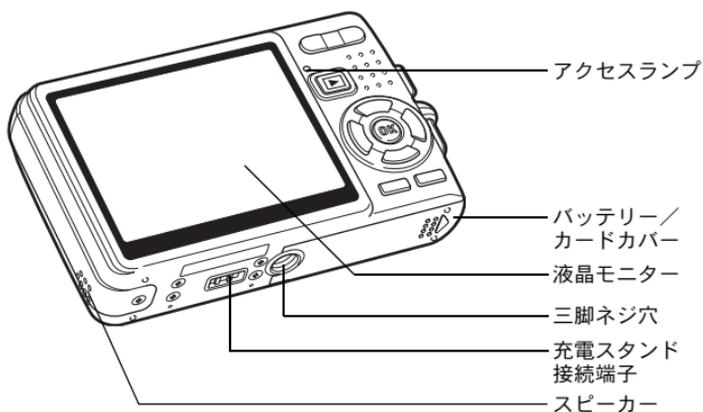
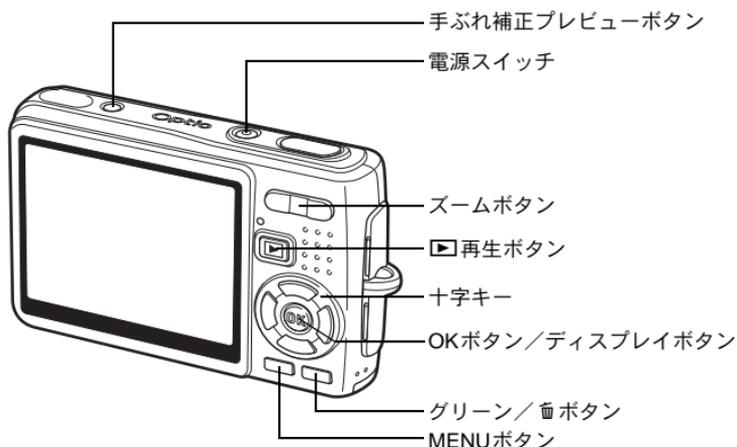
保証書

（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.162）をご覧ください。

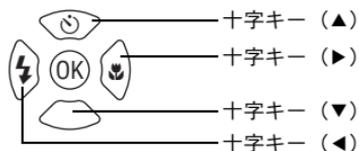
各部の名称

前面

PC/AV端子カバー
シャッターボタン
電源スイッチ、
電源ランプ（緑）
手ぶれ補正プレビュー
ボタン
マイク
セルフタイマー
ランプ／AF補助光
ストロボ
リモコン受光部
PC/AV端子
レンズ
ストラップ取り付け部
DC端子
DC端子カバー
PENTAX

背面

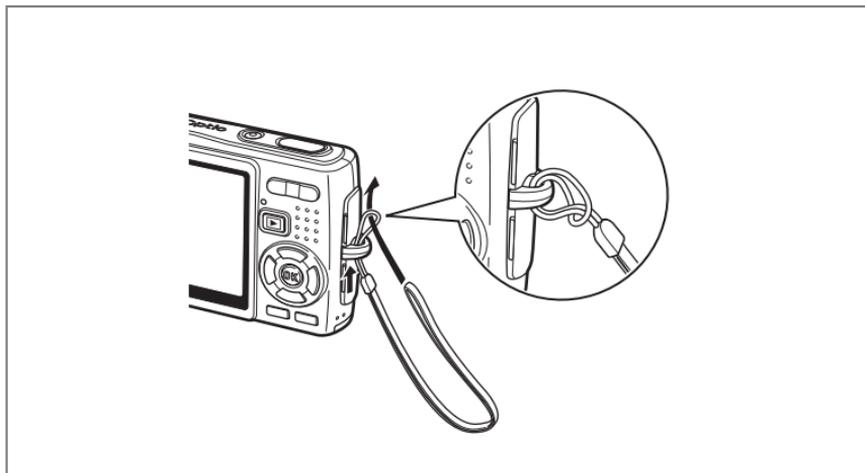
アクセスランプ
バッテリー／
カードカバー
液晶モニター
三脚ネジ穴
充電スタンド
接続端子
スピーカー
OK

操作部の名称

十字キーについて

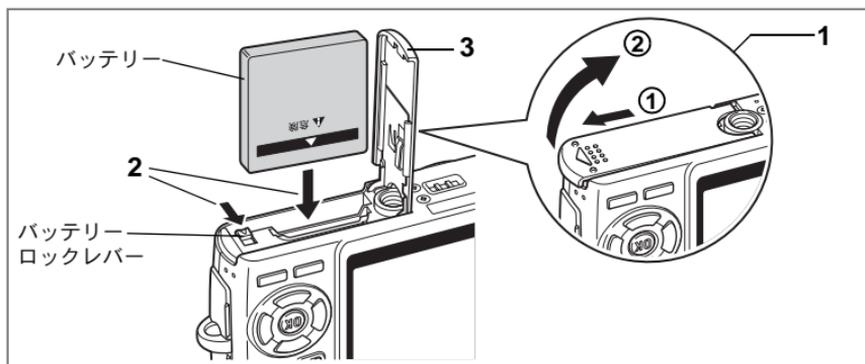
本書では、十字キーを以下のとおり表記します。

ガイド表示について

操作中は液晶モニターにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENUボタン	MENU
シャッターボタン	SHUTTER
OKボタン	OK

ズームボタン デジタルズーム時 トリミング指定時	 🔍 🔍
グリーン／🗑ボタン グリーンボタン時 消去操作時	 ▭ 🗑

ストラップを取り付ける

ストラップの細いひもを、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する

バッテリーをセットする

同梱のバッテリーをセットします。

1　バッテリー／カードカバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

2　バッテリーロックレバーを矢印の方向に押し、バッテリーの▲マークを液晶モニター側に向けながらロックされるまで挿入する

3　バッテリー／カードカバーを閉じる

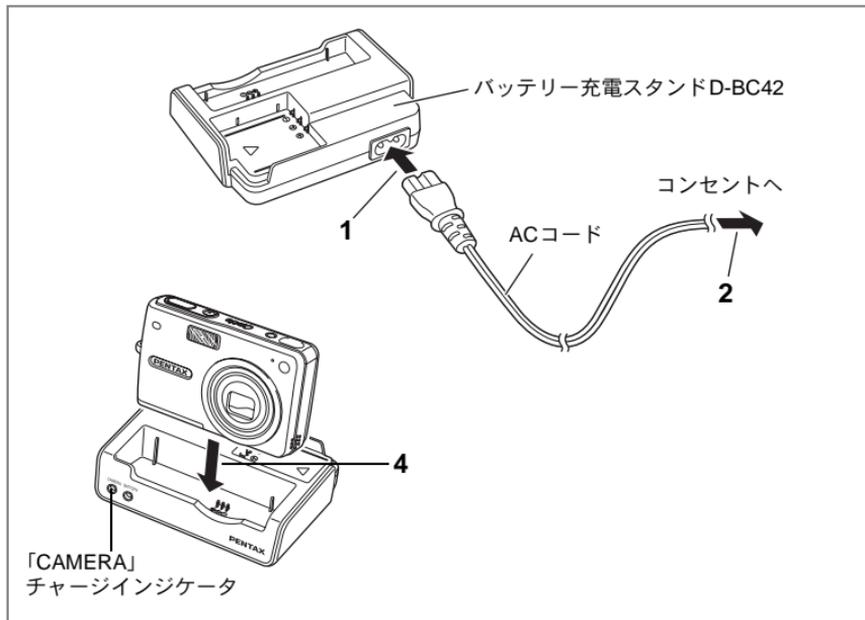
バッテリーを取り出す

1　バッテリー／カードカバーを開ける

2　バッテリーロックレバーをバッテリー挿入時と同じ方向に押す

バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いてください。

長時間連続してご使用になるときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）をご使用ください。（p.20）

- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。
- 電源スイッチがオンのときは、バッテリーを取り出さないでください。
- カメラを長時間使用しない場合は、バッテリーを取り出した状態で保管してください。
- バッテリーを長時間取り出していると、日時の設定がリセットされることがあります。

バッテリーを充電する

はじめてご使用になるときや、「バッテリー容量がなくなりました」というメッセージが表示されたときは、付属のバッテリー充電スタンドD-BC42を使って充電してください。バッテリーをカメラに入れたままで充電できます。

1　バッテリー充電スタンドD-BC42にACコードを接続する

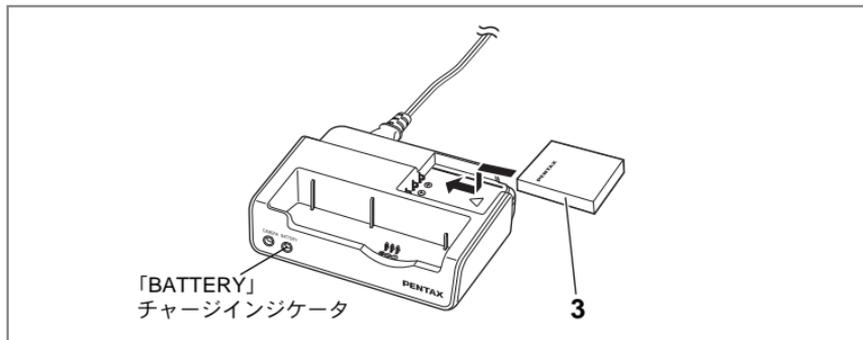
2　ACコードをコンセントに差し込む

カメラにバッテリーを入れた状態で充電する場合

3　カメラの電源をオフにする

4　カメラを、バッテリー充電スタンドに載せる

ケースのくぼみにレンズが合うように載せます。充電中は、充電スタンドの「CAMERA」チャージインジケータが赤色に点灯します。充電が完了すると、チャージインジケータが消灯します。

5　充電終了後、バッテリー充電スタンドからカメラを取り外す

バッテリーだけを充電する場合

カメラからバッテリーを取り外して、バッテリーだけを充電することもできます。

3　バッテリーを「PENTAX」の文字が見えるようにセットする

充電中は「BATTERY」チャージインジケータが赤色に点灯します。充電が完了すると、チャージインジケータが消灯します。

4　充電終了後、バッテリー充電スタンドからバッテリーを取り外す

- カメラとバッテリーを一緒にバッテリー充電スタンドに載せて充電することもできます。
- 充電時間は、最大で約100分です。周囲の温度が0℃～40℃の範囲で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- バッテリーの寿命がくると、正しい充電を行っても使用できる時間が短くなります。新しいバッテリーと交換してください。
- バッテリーだけを充電する場合は、バッテリー充電器キット K-BC8J（別売）も利用できます。

- お買い上げ時や長期間使わなかったバッテリーは、ご使用になる前に必ず充電してください。
- 付属のバッテリー充電スタンドD-BC42では、専用の充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8以外のバッテリーは充電しないでください。充電スタンドの破損や発熱の原因となります。
- バッテリーを正しい向きにセットしてもインジケータランプが点灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。

• 使用時間の目安（専用バッテリー D-LI8フル充電時）

撮影可能枚数　：約150枚（ストロボ使用率50%、液晶モニターオン、23℃）
再生時間　　　：約100分
動画撮影時間　：約50分
音声記録時間　：約110分

- 撮影可能枚数は、CIPA規格に準じた条件で測定したものです。撮影モード、撮影状況により異なります。

- 使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意して、衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 海外旅行、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備バッテリーをご用意ください。

• バッテリーの残量表示

液晶モニターに表示されたで、バッテリーの残量を確認できます。

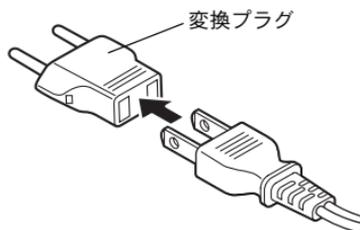
表示		状態
（緑点灯）	：	バッテリーがまだ十分に残っています。
↓		
（緑点灯）	：	わずかに減っています。
↓		
（黄点灯）	：	かなり減っています。
↓		
（赤点灯）	：	残量がほとんどありません。
↓		
「電池容量がなくなりました」	：	メッセージ表示後、電源オフとなります。

• リサイクルについて

Li-ion

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。ご使用済みの小型充電式電池の廃棄に際しては、端子部に絶縁テープをはって、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

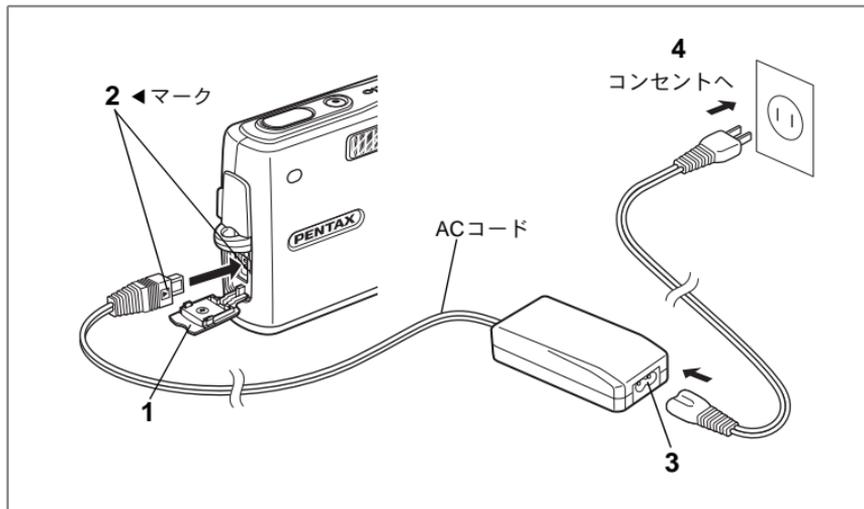
海外でバッテリーを充電する

同梱のバッテリー充電スタンドは、自動で全世界の電源電圧（100-240V）、電源周波数（50Hz、60Hz）に切り換わるように設計されています。
ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、「主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ」(p.19)を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合った市販の変換プラグを準備してください。（ひとつの国の中でも地域によってコンセント形状が異なる場合がありますので、ご注意ください。）
充電の仕方は、国内と同じです。

- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。
- ご使用にならないときは、変換プラグをコンセントから外してください。

タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				

同梱のACコード D-CO2Jは、タイプAです。

主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

		A	B	BF	C	S
北米	アメリカ合衆国、カナダ	○				
ヨーロッパ、旧ソ連地域	アイスランド、アイルランド、イタリア、ウクライナ、オーストリア、オランダ、カザフスタン、ギリシャ、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベラルーシ、ベルギー、ルーマニア、ロシア				○	
	イギリス		○	○		
	スペイン	○			○	
	スイス、ポーランド、ポルトガル		○		○	
アジア	台湾	○				
	スリランカ、モルジブ		○			
	ネパール、バングラデシュ、モンゴル				○	
	ベトナム	○			○	
	インド、インドネシア、パキスタン、マカオ特別区		○		○	
	タイ	○		○	○	
	大韓民国	○	○		○	
	フィリピン	○			○	○
	シンガポール、香港特別行政区		○	○		
	中華人民共和国	○	○	○	○	○
	マレーシア		○	○	○	
オセアニア	オーストラリア、トンガ、ニュージーランド、フィジー					○
	グァム島	○				
	タヒチ				○	
中南米	コロンビア、ジャマイカ、ハイチ、パナマ、バハマ、プエルトリコ、ベネズエラ、メキシコ	○				
	ブラジル、ペルー	○			○	
	チリ		○		○	
	アルゼンチン			○	○	○
中東	イスラエル、イラン				○	
	クウェート		○		○	
	ヨルダン		○	○		
アフリカ	カナリア諸島、ギニア、モザンビーク、モロッコ				○	
	ケニア、南アフリカ共和国		○		○	
	アルジェリア	○	○	○		
	エジプト		○	○	○	
	ザンビア、タンザニア		○	○		

ACアダプタを使用する（別売）

液晶モニターを長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。

1　カメラの電源が切れていることを確認してから、DC端子カバーを開ける

2　AC アダプタの DC 端子を、カメラの DC 入力端子に「◀」マークを合わせて接続する

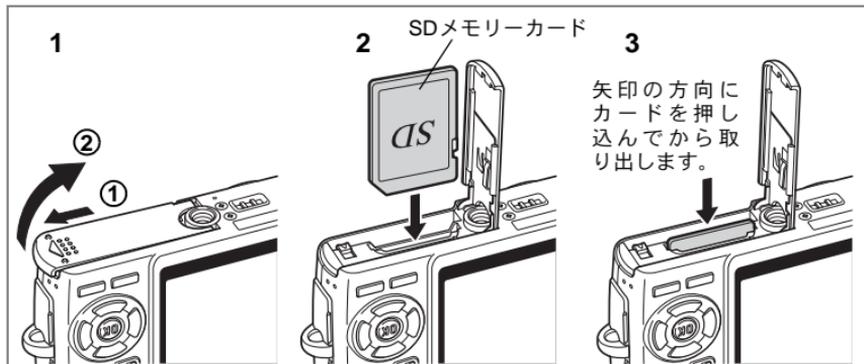
3　ACコードをACアダプタに接続する

4　コンセントに電源プラグを差し込む

- AC アダプタを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行ってください。
- 電源および接続ケーブルは、しっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプタをご使用になるときはACアダプタキットK-AC8Jの使用説明書をあわせてご覧ください。
- DC端子を接続するときは、必ず「◀」マークを合わせてください。無理に差し込むと破損の恐れがあります。

バッテリー充電スタンドとACアダプタの使用上の注意

バッテリー充電スタンドとACアダプタを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。
ご使用の前に、必ず「ご注意ください」（p.1）をお読みください。
バッテリー充電スタンドとACアダプタの仕様については、p.169をご覧ください。

SDメモリーカードをセットする

このカメラでは、SDメモリーカードが使用できます。撮影した画像は、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに記録されます。カードをセットして撮影したときはカードに、カードをセットしていないときは内蔵メモリーに記録されます。

- SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。
- 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする」(p.142) をご覧ください。

1 バッテリー／カードカバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

2 SDメモリーカードのラベル（▲印のある）面を液晶モニター側に向け、カチッと音がするまで押し込む

3 バッテリー／カードカバーを閉じる

カードを取り出すときは、カードを矢印の方向に押し込みます。カードが少し飛び出すので、カードを引き抜いて取り出してください。

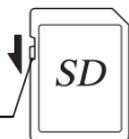
撮影できる画像の枚数は、使用するSDメモリーカードまたは内蔵メモリーの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります。（☞p.24）

データバックアップのおすすめ

内蔵メモリーに記憶したデータは、まれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータはパソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

SDメモリーカード使用上の注意

- カードカバーを開けるときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。

ライトプロテクトスイッチ

- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- 未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする」（p.142）をご覧ください。
- SD メモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SD メモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
- SDメモリーカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅いSDメモリーカードでは、動画撮影時にカードに空き容量があっても途中で撮影が終了したり、撮影・再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- フォーマットしたSDメモリーカードでも、市販の修復ソフトを使用するとデータを再び取り出せることがあります。廃棄の際はSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

静止画の記録サイズと画質

画像の記録サイズと画質は、画像の用途に応じて設定します。
記録サイズの数値や画質の★の数は、多くなるほどプリントしたときに鮮明な画像が得られますが、画像の容量が増えるので、撮影できる枚数は少なくなります。なお、大きな記録サイズで高画質にした場合、撮影後の記録に十数秒かかることがあります。
画像の記録サイズと画質の設定は、「撮影」メニューで行います。

メニューの操作方法☞p.39

静止画の記録サイズを選択する☞p.72

静止画の画質を選択する☞p.74

● 選べる記録サイズと適した用途

記録サイズ	鮮明、きれい ↑	用途
8M (3264×2448)		フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集・加工など
5M (2592×1944)		
4M (2304×1728)		
3M (2048×1536)		
2M (1600×1200)		はがきサイズプリント
1024 (1024×768)		ホームページ掲載、電子メール添付など
640 (640×480)		

初期設定では、8M（3264×2448）が選択されています。

● 選べる画質と適した用途

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、A4サイズなど大きな写真のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、写真のプリントおよびパソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

初期設定では、★★が選択されています。

● 記録サイズ／画質と撮影可能枚数の目安

記録サイズ＼画質	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	音声
8M (3264×2448)	44枚	64枚	89枚	2時間 13分21秒
5M (2592×1944)	70枚	102枚	142枚	
4M (2304×1728)	89枚	129枚	180枚	
3M (2048×1536)	107枚	155枚	215枚	
2M (1600×1200)	150枚	217枚	302枚	
1024 (1024×768)	274枚	396枚	549枚	
640 (640×480)	504枚	728枚	1009枚	

- 表の数値は、128MBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数です。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

動画の記録サイズと画質

動画の記録サイズと画質は、動画の用途に応じて設定します。
記録サイズの数値や画質の★の数は、多くなるほどきめ細かい画像になりますが、ファイルサイズは大きくなります。
動画の記録サイズと画質の設定は、「撮影」メニューの「動画」で行います。

動画の記録サイズを選択する☞p.83

動画の画質を選択する☞p.84

● 選べる記録サイズと適した用途

640 (640×480)	VGAサイズで高画質な動画を楽しめます。ただし記録時間は短くなります。
320 (320×240)	画像の容量が小さくなるため、記録時間が長くなります。

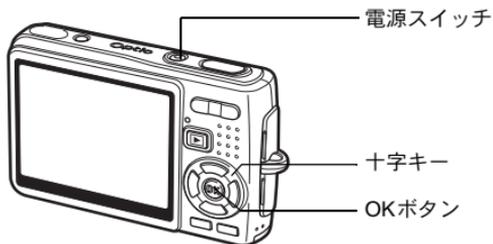
初期設定では、640（640×480）が選択されています。

● 記録サイズ／画質と撮影可能時間の目安

記録サイズ＼画質	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー
640 (640×480)	5分23秒	6分25秒	7分22秒
320 (320×240)	14分23秒	16分6秒	17分32秒

初期設定では、★★★が選択されています。

- 表の数値は、128MBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数です。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

初期設定をする（表示言語と日時の設定）

カメラの電源を入れたときに、「Initial Setting」や「日時設定」画面が表示されたら、次の手順に従って初期設定をしてください。

［Initial Setting（初期設定）の画面が表示された場合］
☞p.26～27「言語を設定する」「日時を設定する」
［日時設定の画面が表示された場合］
☞p.27「日時を設定する」

初期設定をやりなおしたい場合は、「日時を変更する」（p.146）、「表示言語を変更する」（p.150）をご覧ください。

言語を設定する

使用する言語を日本語に設定します。

1　十字キー（▶）を押す

Language/言語 画面が表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ

3 OKボタンを押す

「日本語」を選ぶと「現在地」、「ビデオ出力」が右図のように表示されます。

初期設定
Language/言語 日本語
現在地 0:00
東京
ビデオ出力 NTSC
MENU 取消 OK 決定

4 OKボタンを押す

日時設定画面が表示されます。

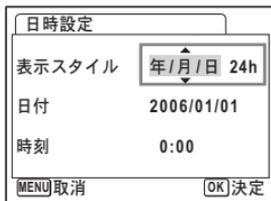
日時を設定する

日付の表示スタイルと現在の日付、時刻を設定します。

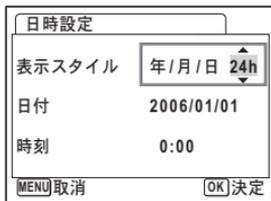
1 十字キー（▶）を押す

選択枠が「年/月/日」に移動します。

2 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

日時設定
表示スタイル 年/月/日 24h
日付 2006/01/01
時刻 0:00
MENU 取消 OK 決定

3 十字キー（▶）を押す

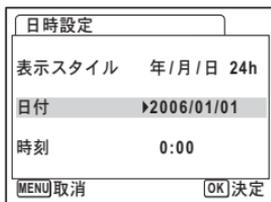
選択枠が「24h」に移動します。

4 十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する

5 十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

6 十字キー（▼）を押す

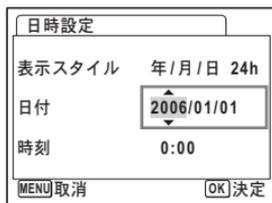
選択枠が「日付」に移動します。

日時設定
表示スタイル 年/月/日 24h
日付 2006/01/01
時刻 0:00
MENU 取消 OK 決定

7 十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

8 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

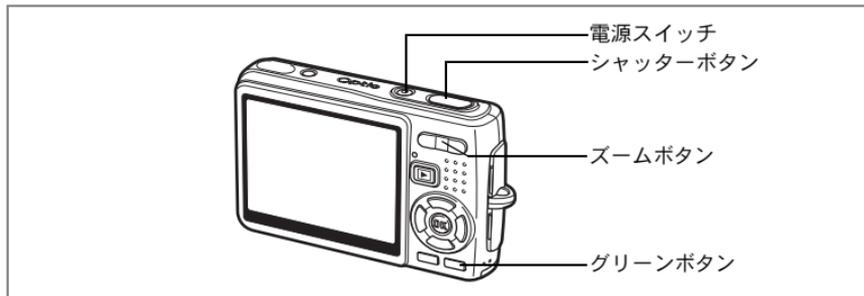
同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻欄を設定します。
手順4で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

日時設定
表示スタイル　年/月/日　24h
日付　2006/01/01
時刻　0:00
MENU 取消　OK 決定

- 日時の設定終了後、OKボタンを押すと、0秒にセットされます。
- 時報に合わせてOKボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

注意

- 初期設定の途中で MENU ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。
- ここで設定した内容は、設定後にメニュー操作で変更することができます。操作方法については、以下のページをご覧ください。
  「言語」:「表示言語を変更する」（p.150）
  「都市」「夏時間」:「ワールドタイムを設定する」（p.148）
  「日時」:「日時を変更する」（p.146）
- 「ビデオ出力方式」は、ここで設定した言語に連動して下記のように自動的に設定されます。お使いになる地域の方式と異なる場合は、「ビデオ出力方式を選択する」(p.151) の手順に従って変更してください。

言語	ビデオ出力
英語（English）	NTSC
フランス語（Français）	PAL
ドイツ語（Deutsch）	PAL
スペイン語（Español）	PAL
ポルトガル語（Português）	PAL
イタリア語（Italiano）	PAL
スウェーデン語（Svenska）	PAL
オランダ語（Nederlands）	PAL
ロシア語（Русский）	PAL
タイ語（ไทย）	PAL
韓国語（한국어）	NTSC
中国語・繁体字（中文繁體）	PAL
中国語・簡体字（中文简体）	PAL
日本語	NTSC

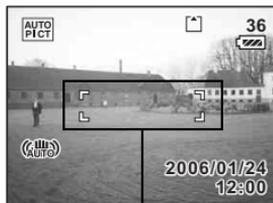
静止画を撮影する

最も簡単な静止画の撮影方法を説明します。ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

1 電源スイッチを押す

電源がオンになります。

2 液晶モニターを確認する

フォーカスフレーム

液晶モニターの中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。
ズームボタンを押すと被写体の大きさが変わります。
♠ ：被写体が大きく写ります。
♠♠♠：被写体が小さく写ります。

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

撮影した画像が液晶モニターに1秒間表示（クイックビュー）されます。撮影した画像はSDメモリーカード、または内蔵メモリーに保存されます。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

半押し

シャッターボタンを軽く押した状態です。ピント位置、露出がロックされます。シャッター速度、絞り値は、シャッターボタンを半押ししたときだけ表示されます。
半押しのとき、ピントが合うと液晶モニタ上で緑色の枠が点灯します。ピントが合っていないときは、枠が表示されません。

全押し

シャッターボタンを下まで押した状態です。撮影が行われます。

[ピント合わせの苦手な条件]

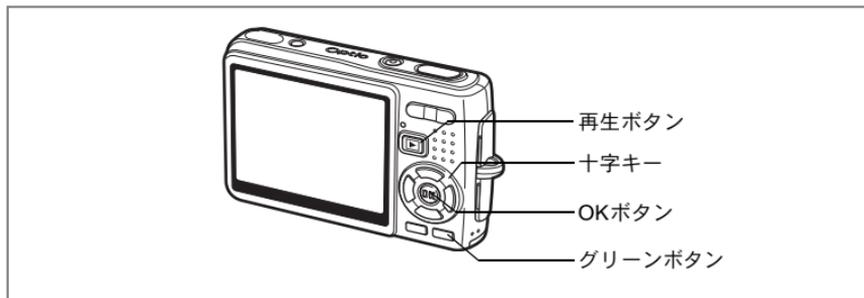
写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときはいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定(シャッターボタン半押し)し、その後構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光(周辺が特に明るい場合)

クイックビュー

撮影直後に画像が表示される「クイックビュー」の表示時間は、初期設定では1秒間に設定されています。クイックビュー表示中にグリーンボタンを押すと、消去画面が表示されます。「消去」を選びOKボタンを押すと、その画像を消去することができます。(☞p.109)

クイックビューの時間を設定する☞p.87

静止画を再生する

画像を再生する

静止画を再生します。

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

拡大して再生する☞p.102

前後の画像を再生する

静止画を前後に1枚ずつ送って再生します。

1　撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

◀ 前の画像が表示されます。

▶ 次の画像が表示されます。

表示した画像を消去するには

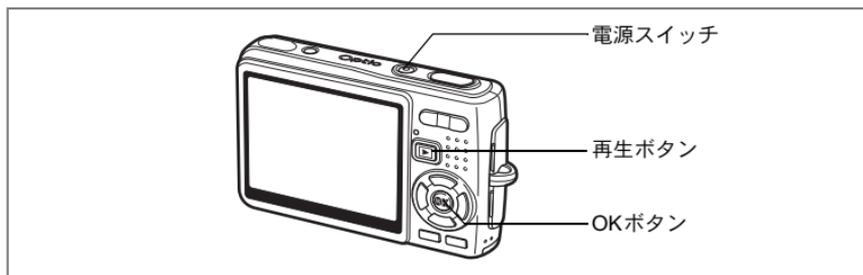
画像表示中にグリーンボタンを押すと、消去画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押すとこの画像を消去することができます。
もう一度▶再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、撮影できる状態に戻ります。

- 再生モードに切り替えると最後に撮影した画像が最初に表示されます。
- 液晶モニターに表示された画像は、ズームボタンで拡大して見ることができます（回転表示中の画像を拡大すると、一時的に回転表示が解除されます。拡大をやめると、元の回転表示に戻ります。）。
- 画像が保存されていないときは、「画像／音声がありません」と表示されます。

拡大して再生する☞p.102

画像・動画・音声を消去する☞p.109

2 クイックスタート

電源をオン／オフする

1　電源スイッチを押す

電源ランプが緑色に点灯し、レンズが繰り出されて撮影モードで起動します。
シャッターを押せばすぐに写真が撮れる状態です。

- **▶ 再生ボタンを押すと、レンズが前に出たまま保存されている写真を見られる再生モードになります。**
- **▶再生ボタンを2秒間押し続けると、レンズが収納された再生モードになります。**
- **▶再生ボタンを4秒以上押し続けると、SDメモリーカードを入れたままで内蔵メモリーの内容を表示することができます。**

2　もう一度電源スイッチを押す

電源がオフになります。

撮影モードと再生モードを切り替える☞p.47

マイアルバム機能を使う

このカメラには内蔵メモリーが搭載されていますが、SDメモリーカードをセットすると内蔵メモリーは隠れます。次の手順で隠れた内蔵メモリーを呼び出すことができるので、お気に入りの画像や映像、音声を内蔵メモリーに入れて、プライベートなアルバムとしてご利用ください。

1　カメラに SD メモリーカードがセットされていることを確認する

2 撮影モードで▶再生ボタンを4秒以上押し続ける

▶再生ボタンを押して2秒後にレンズが収納され、さらに2秒後に内蔵メモリーの内容が表示されます。

- 電源を入れなおしたり、再生モードから撮影モードに切り替えると、マイアルバム機能は解除され、SDメモリーカードに戻ります。
- マイアルバム機能を利用中はSDメモリーカードにアクセスできませんので、内蔵メモリーとSDメモリーカード間での転送機能は使えません。転送する場合は、マイアルバム機能を解除してください。
- マイアルバム機能を利用中は、フォーマットはできません。

SDメモリーカードから内蔵メモリーに画像を転送する☞p.140

再生モードで電源をオンにする

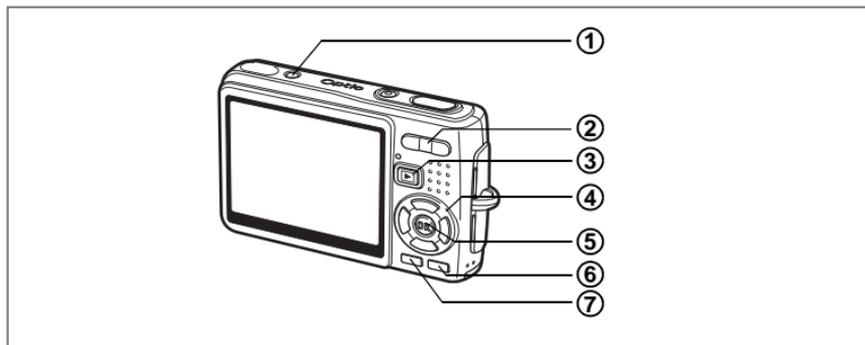
1 ▶再生ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

電源ランプが緑色に点灯し、レンズは収納されたまま再生モードで起動します。

- **▶再生ボタンを押すとレンズが繰り出され、撮影モードになります。**
- **撮影モードで▶再生ボタンを2秒以上押し続けるか、ボイスレコーディングモードで▶再生ボタンを押すと、レンズが収納されたまま再生モードになります。**

電源スイッチを長く押し続けた場合、電源がオンからオフに戻ることがあります。

静止画を再生する☞p.31

ボタンの機能を使用する

撮影モード時

① **手ぶれ補正プレビューボタン**
静止画での手ぶれ補正の効果を液晶モニターで確認できます。
(☞p.50)

② **♠♠♠／♠ ズームボタン**
被写体の大きさを変えます。(☞p.29)

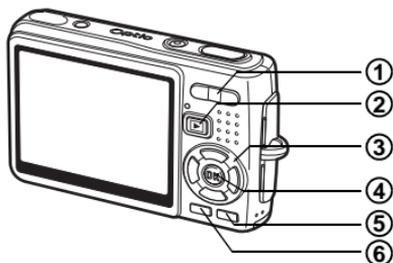
③ **▶再生ボタン**
再生モードに切り替えます。もう一度押すと撮影モードに戻ります。
(☞p.31)

④ **十字キー（◀▲▶）**
(🌷▶)　フォーカスモードを切り替えます。(☞p.67)
(🕐▲)　ドライブモードを切り替えます。(☞p.61～p.64)
(▼)　撮影モードパレットを表示します。(☞p.44)
(⚡◀)　ストロボの発光方法を切り替えます。(☞p.70)

⑤ **OK／ディスプレイボタン**
液晶モニターに表示される情報を切り替えます。(☞p.47)

⑥ **グリーン／🗑ボタン**
撮影機能の設定をクリアします。(☞p.96)
「📷撮影」メニューの「グリーンボタン」で他の機能を割り当てることもできます。(☞p.88)

⑦ **MENUボタン**
「📷撮影」のメニューを表示します。(☞p.39)

3 機能共通操作

再生モード時

① **♦♦♦／♦ ズームボタン**
1画面表示時に♦♦♦/⊞を押すと9画像表示になります。♦/🔍を押すと、前の表示に戻ります。（☞p.106）
1画面表示時に♦/🔍を押すと画像が拡大表示されます。♦♦♦/⊞を押すと前の表示に戻ります。（☞p.102）

② **▶再生ボタン**
撮影モードに切り替えます。ボイスレコーディングモード時に▶再生ボタンを押して再生モードに入り、もう1度▶再生ボタンを押した場合、ボイスレコーディングモードに切り替わります。

③ **十字キー**
静止画再生時
（◀▶）　1画面表示時は、前後の画像を表示します。（☞p.31）
回転表示時は、▶を押すごとに時計回りに90度回転、◀を押すごとに反時計回りに90度回転します。（☞p.127）
（▼）　再生モードパレットを表示します。（☞p.46）
（▲▼◀▶）拡大表示時は、表示範囲を移動します。（☞p.102）
9画面表示時には、画像を選択します。（☞p.106）

動画再生時
（▲）　動画・音声を再生／一時停止します。（☞p.104）
（◀▶）　動画表示時は、コマ送り、コマ戻し、早送り、巻き戻しをします。（☞p.104）
（▼）　再生中の動画・音声を停止します。（☞p.104）

ボイスレコーディング再生時（☞p.99）

（▲）　再生を開始します。もう一度押すと、再生を一時停止します。

（◀▶）　再生中は、次の動作をします。再生前は録音したファイルを選びます。

インデックスがない場合
再生中に（◀）を押すと約5秒戻ります。
再生中に（▶）を押すと約5秒進みます。

インデックスがある場合
再生中に（◀）を押すと前のインデックス位置から再生します。
再生中に（▶）を押すと次のインデックス位置から再生します。

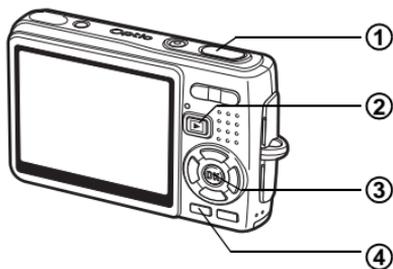
④ OK／ディスプレイボタン

液晶モニターに表示される情報を切り替えます。（☞p.105）
9画面表示時は、1画面表示に戻ります。（☞p.106）

⑤ グリーン／🗑ボタン

再生中の画像を消去します。（☞p.109）

⑥ MENUボタン

「📷撮影」のメニューを表示します。（☞p.39）

ボイスレコーディングモード時

① **シャッターボタン**
ボタンを押すと録音を開始し、もう一度押すと録音を停止します。
１秒以上押し続けると、押している間だけ録音し、ボタンを離すと録音を停止します。

② **再生ボタン**
再生モードに切り替えます。(☞p.34) もう一度押すとボイスレコーディングモードに戻ります。

③ **OK／ディスプレイボタン**
液晶モニターをオン／オフにします。

④ **MENUボタン**
録音中に押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。
録音待機中、あるいは録音再生前に押すと「撮影」メニューを表示します。(☞p.39)

メニューを操作する

MENUボタンを押すと、液晶モニターにメニューが表示されます。メニューを使用して、機能の設定や設定した内容の保存、カメラの設定変更などができます。

メニューの操作方法

メニュー操作中は、液晶モニターにガイドが表示されます。

1　MENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。
選択されている部分はハイライトで表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

メニュー画面が切り替わります。

3　十字キー（▲▼）で項目を選択する

ハイライトが上下に移動します。

4　十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューまたは設定画面が表示されます。
ポップアップには、現在のカメラの条件で選べる設定が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で設定を切り替える

十字キー（▲▼）を押すたびに、設定が切り替わります。

設定を保存して撮影をしたいとき

6　シャッターボタンを半押しする

設定が保存され、撮影できる状態になります。
全押しすると、写真が撮影されます。

設定を保存して再生をしたいとき

6　▶再生ボタンを押す

設定が保存され、再生できる状態になります。

設定を保存して続いてメニュー操作をしたいとき

6　OKボタンまたは十字キー（◀）を押す

設定が保存され、手順3に戻ります。

変更を取り消してメニュー操作を続けたいとき

6　MENUボタンを押す

変更が取り消され、手順3に戻ります。

MENUボタンの機能は、画面によって異なります。ガイド表示を参照してください。

MENU 終了 ：現在の設定を保存してメニュー操作を終了し、元の画面（撮影モード、または再生モード)に戻ります。

MENU ⮌ ：現在の設定を保存して、手順1の画面に戻ります。

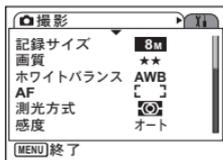
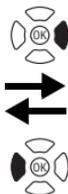
MENU 取消 ：現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、手順3の画面に戻ります。

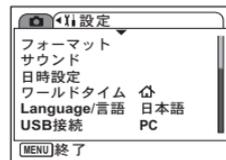
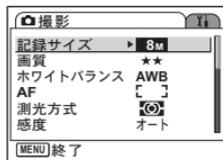
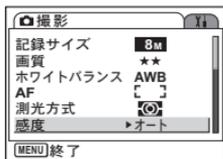
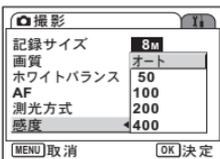
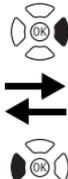
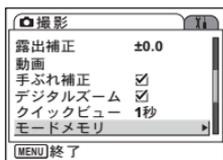
注意

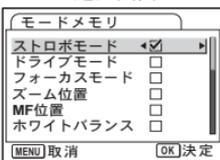
- ポップアップが表示されている状態でMENUボタンを押すと、設定がキャンセルされます。
- ポップアップが表示されている状態でOKボタン、MENUボタン、十字キー（◀）を押すと、項目選択画面に戻ります。
- メニュー画面を表示させてから1分間何も操作しないと、メニュー画面が終了します。

操作の例

1 MENUボタン

2

「撮影」メニュー

「設定」メニュー

3

3

4

3

4'

選択画面

3

次のメニュー画面へ

メニュー一覧

「撮影」メニュー

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>内容</th><th>参照</th></tr>
<tr><td colspan="2">記録サイズ</td><td>画像の画素数が選べます。</td><td>p.72</td></tr>
<tr><td colspan="2">画質</td><td>画像の圧縮率が選べます。</td><td>p.74</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホワイトバランス</td><td>撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。</td><td>p.75</td></tr>
<tr><td rowspan="3">AF</td><td>AFエリア</td><td>オートフォーカスの対象となる範囲を変更します。</td><td>p.77</td></tr>
<tr><td>フォーカスリミット</td><td>レンズの移動範囲を状況に応じて制限します。</td><td>p.78</td></tr>
<tr><td>AF補助光</td><td>被写体が暗く、オートフォーカスが正確に作動しない環境でピントを合わせやすくします。</td><td>p.78</td></tr>
<tr><td colspan="2">測光方式</td><td>露出を決定する測光方式を設定します。</td><td>p.79</td></tr>
<tr><td colspan="2">感度</td><td>感度を設定します。</td><td>p.80</td></tr>
<tr><td colspan="2">露出補正</td><td>－2.0～＋2.0の間で露出を補正します。</td><td>p.82</td></tr>
<tr><td rowspan="3">動画</td><td>記録サイズ</td><td>動画の画素数が選べます。</td><td>p.83</td></tr>
<tr><td>画質</td><td>動画の画質が選べます。</td><td>p.84</td></tr>
<tr><td>動画手ぶれ補正</td><td>動画の手ぶれを自動的に補正します。</td><td>p.85</td></tr>
<tr><td colspan="2">手ぶれ補正</td><td>静止画撮影時の手ぶれを補正します。</td><td>p.86</td></tr>
<tr><td colspan="2">デジタルズーム</td><td>デジタルズーム撮影ができます。</td><td>p.65</td></tr>
<tr><td colspan="2">クイックビュー</td><td>クイックビューの表示時間を設定します。</td><td>p.87</td></tr>
<tr><td colspan="2">モードメモリ</td><td>電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリします。</td><td>p.94</td></tr>
<tr><td colspan="2">グリーンボタン</td><td>グリーンボタンに機能を登録します。</td><td>p.88</td></tr>
<tr><td colspan="2">シャープネス</td><td>シャープネスを設定します。</td><td>p.91</td></tr>
<tr><td colspan="2">彩度</td><td>彩度を設定します。</td><td>p.92</td></tr>
<tr><td colspan="2">コントラスト</td><td>コントラストを設定します。</td><td>p.93</td></tr>
</table>

「設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーを初期化します。	p.142
サウンド	操作音量、再生音量、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を設定します。	p.143
日時設定	日付・時刻、表示スタイルを設定します。	p.146
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します。	p.148
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます。	p.150
USB接続	USB接続モードを変更します。	p.151
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します。	p.151
LCD明るさ設定	液晶モニターの明るさを設定します。	p.152
エコモード	節電機能を設定します。	p.153
クイック拡大	ズームボタンを一度操作するだけで、画面を指定倍率に拡大できるように設定します。	p.103
クイック消去	オンに設定すると「消去」が選択された状態で消去画面が表示されます。	p.110
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるようにします。	p.154
ガイド表示	オンに設定すると、撮影モード画面上で現在選択されているモード、十字キーの状態、グリーンボタンの内容を表示します。	p.154
リセット	設定を初期値に戻します。	p.155

モードパレットを操作する

十字キー（▼）を押すと、液晶モニターにモードパレットが表示されます。モードパレットを使用して、画像の編集やカメラの設定変更などができます。

モードパレットの操作方法

モードパレット操作中は、液晶モニターにガイドが表示されます。

1　十字キー（▼）を押す

撮影モードでは撮影モードパレット、再生モードでは再生モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で使用したいモードを選ぶ

3　OKボタンを押す

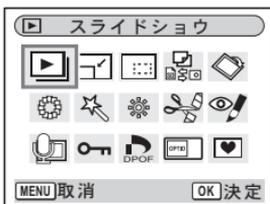
各モードの画面が表示されます。

モードパレット一覧

撮影モードパレット

アイコン	項目	内容	参照
AUTO PICT	オートピクチャーモード	撮影モードの選択をカメラにまかせて撮影します。	p.51
P	プログラムモード	シャッター速度と絞り値をカメラにまかせて撮影します。	p.52
	夜景モード	夜景など暗いシーンを撮影します。	p.56
	動画モード	動画を撮影します。	p.57
	ボイスレコーディングモード	音声を記録します。	p.97

アイコン	項目		内容	参照
	ピクチャーモード	風景	風景写真をきれいに仕上げます。	p.53
		花	花の写真をきれいに仕上げます。	
		ポートレート	人物写真をきれいに仕上げます。	
		キャンドルライト	キャンドルライトの雰囲気を活かして撮影します。	
		サーフ＆スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。	
		スポーツ	シャッター速度を速くして、被写体のブレを軽減します。	
		ペット	ペットの毛色を生かして写真をきれいに仕上げます。	
		テキスト	文字をくっきりときれいに撮影します。また、お好みで白黒や反転に仕上げます。	
		料理	テーブル上を見たままに鮮やかに仕上げます。	
	フレーム合成モード		フレーム（飾り枠）付きの画像を撮影します。	p.59

再生モードパレット

アイコン	項目	内容	参照
	スライドショウ	保存された画像を連続で再生します。	p.107
	リサイズ	画像のサイズと画質を変更します。	p.124
	トリミング	画像の一部をトリミングして、別の画像として保存します。	p.126
	画像／音声コピー	画像・音声を内蔵メモリーからSDメモリーカードへ、またはSDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。	p.139
	画像回転	静止画を回転して表示させます。	p.127
	カラーフィルタ	静止画にカラーフィルタ処理を行います。	p.128
	デジタルフィルタ	イラスト加工やスリム加工など、静止画を好みに合わせて加工します。	p.130
	明るさフィルタ	静止画の明るさをフィルタで調節します。	p.132
	動画編集	動画の編集をします。	p.133
	赤目補正	ストロボ撮影による赤目を補正します。	p.136
	ボイスメモ	画像にボイスメモを付けます。	p.100
	プロテクト	画像・音声を誤って消去しないようにプロテクトします。	p.113
DPOF	DPOF	DPOF対応プリンターやラボプリントサービスでプリントするための設定をします。	p.117
OPTIO	起動画面設定	起動画面を設定します。	p.141
	フレーム合成	撮影した静止画に飾り枠を合成します。	p.137

撮影する

モードを切り替える

撮影ができる状態を撮影モード、再生や消去ができる状態を再生モードといいます。

撮影モードと再生モードを切り替える

- 撮影モードから再生モードへは、▶再生ボタンを押して切り替えます。
- 再生モードから撮影モードへは、▶再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しして切り替えます。

撮影モード

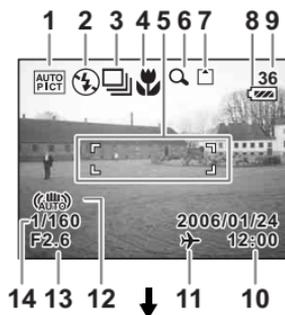
モードパレットで撮影モードを選択します。（☞p.44）

撮影情報を表示する

撮影モード時にOK／ディスプレイボタンを押すと、現在の撮影条件などの表示（ディスプレイモード）が切り替わります。

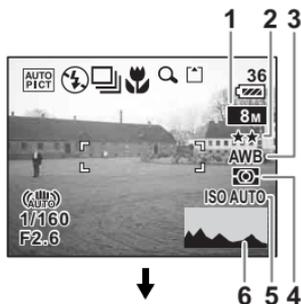
通常表示

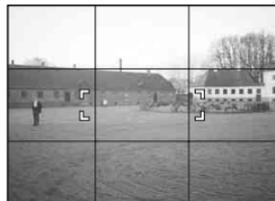
電源をオンしたときの状態です。撮影情報を表示します。

1 撮影モード	**2** ストロボモード
3 ドライブモード	**4** フォーカスモード
5 フォーカスフレーム	**6** ズーム
7 カード／内蔵メモリー	**8** バッテリー残量表示
9 撮影可能残量	**10** 日時
11 ワールドタイム設定	**12** 手ぶれ補正（オン）※
13 絞り値	**14** シャッター速度

※ 手ぶれ補正がオフのときは（手ぶれ補正オフ）が表示されます。シャッター速度が遅いときは（手ぶれ警告）が表示されます。

ヒストグラム表示

明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

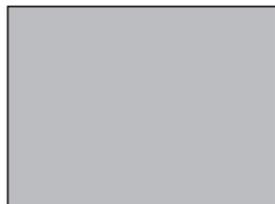
1 記録サイズ　**2** 画質
3 ホワイトバランス　**4** 測光方式
5 感度　**6** ヒストグラム

グリッド表示

縦横3分割の位置にグリッドを表示します。撮影時に使用すると、構図が決めやすくなります。

情報表示なし

撮影情報を表示しません。

- オートフォーカス時には、フォーカスフレームが表示されます。
- 設定を変更したときは、数秒間、設定内容を表示します。

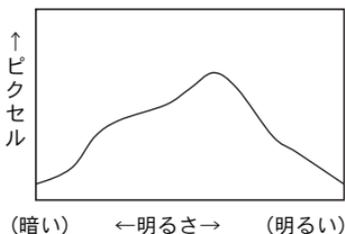
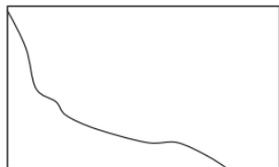
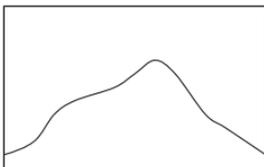
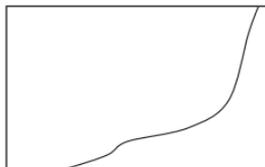
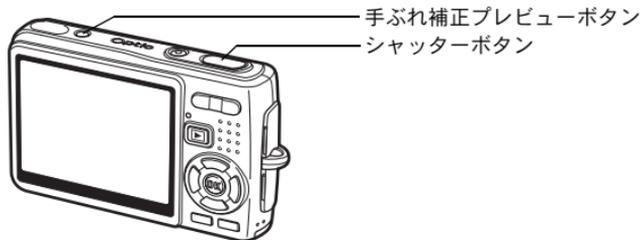
バックライトオフ

液晶モニターがオフになります。

液晶モニターの表示モードを保存する☞p.94

- 手ぶれしやすい条件のとき、⚠✋（手ぶれ警告）が表示されます。手ぶれ補正機能を使用するか、カメラを三脚などに固定して撮影してください。（☞p.50）
- バックライトがオフのときにも、すべてのボタンは通常通り使用できます。シャッターボタンを押せば、通常通り撮影できます。

ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさのピクセル数を積み上げたグラフ（明るさの分布図）です。ヒストグラムを参照することで、撮影した画像がどの程度の明るさになっているか、おおよその傾向をつかむことができます。例えば、グラフの山が左側に偏っているほど暗い画像になり、右側に偏っていれば明るい画像になります。

一般的に明暗差のバランスがとれた画像の場合、中央部になだらかな山のピークができていることが多くなります。逆に明暗差が極端で、明るい部分と暗い部分のみで構成され、中間的な明るさの部分が少ない画像の場合、左右に山のピークができ、中央部分がくぼんだグラフになります。

手ぶれを補正して静止画を撮影する

このカメラはCCDシフト方式手ぶれ補正機構を内蔵しており、静止画撮影時の手ぶれを補正します。手ぶれが発生しやすい暗い場所での撮影やマクロ撮影、望遠撮影に役立ちます。動画の手ぶれ補正については、「動画の手ぶれを補正する」（p.85）をご覧ください。

1　手ぶれ補正プレビューボタンを押す

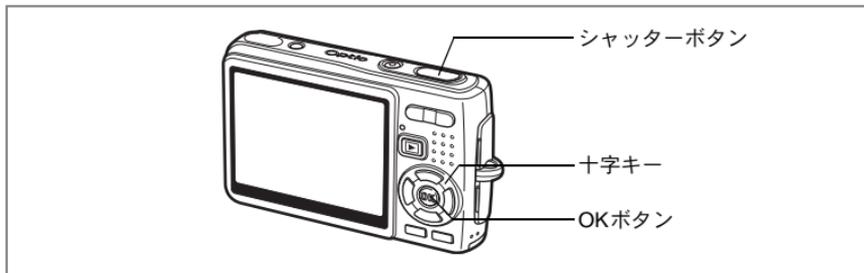
手ぶれ補正プレビューボタンを押している間、液晶モニターで手ぶれ補正の効果を確認できます。

2　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 手ぶれ補正プレビューボタンを作動させるためには、「撮影」メニューで「手ぶれ補正」をオンにしておく必要があります。設定のしかたは、「静止画の手ぶれ補正を設定する」（p.86）をご覧ください。初期設定では、オンが選択されています。
- 「撮影」メニューの「手ぶれ補正」がオンに設定されている場合、手ぶれ補正プレビューボタンを押すと静止画再生モードやボイスレコーディングモードのほか、USB接続中でも手ぶれ補正機能が作動し、電力を消費します。必要なとき以外はボタンを押さないでください。

手ぶれ補正プレビューボタンを押さずにシャッターボタンを全押しするだけでも手ぶれ補正された画像を撮影できます。この場合、撮影前に手ぶれ補正された画像が液晶モニターに表示されません。

4
撮影

カメラまかせで撮影する（オートピクチャーモード）

AUTO PICT（オートピクチャーモード）では、シャッターを押すだけで、カメラがシーンに応じて☺（標準モード）、（夜景モード）、（風景モード）、（ポートレートモード）の中から最適な撮影モードを選びます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、AUTO PICT（オートピクチャーモード）を選ぶ

3 OKボタンを押す

4 シャッターボタンを半押しする

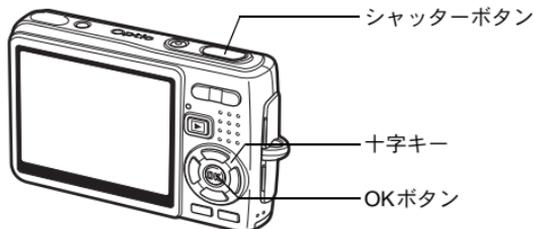
ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わり、選択された撮影モードが液晶モニター左上に表示されます。

5 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

静止画を撮影する☞p.29

オートピクチャーモードでは、露出補正は±0.0に固定されます。（☞p.82）

4 撮影

機能を設定して撮影する（プログラムモード）

P（プログラムモード）では、シャッター速度と絞り値をカメラが自動的に設定して静止画を撮影します。ストロボの発光方式や連続撮影などその他の機能は自由に設定できます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、P（プログラムモード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

4　必要に応じて使用する機能を設定する

機能の設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」（p.67～93）をご覧ください。

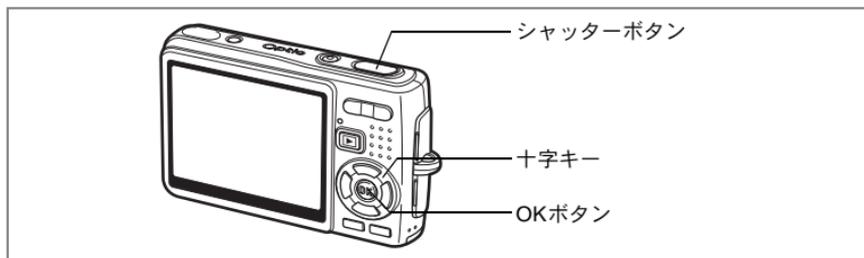
5　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

静止画を撮影する☞p.29

4 撮影

シーンに合わせた撮影をする（ピクチャーモード）

撮りたいシーンに合わせた設定で撮影します。ピクチャーモードには、次の9のモードがあります。

	風景	風景写真をきれいに仕上げます。
	花	花の写真をきれいに仕上げます。
	ポートレート	人物写真をきれいに仕上げます。
	キャンドルライト	キャンドルライトの雰囲気を活かして撮影します。
	サーフ＆スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
	スポーツ	シャッター速度を速くして、被写体のブレを軽減します。
	ペット	ペットの毛色を生かして写真をきれいに仕上げます。
	テキスト	文字をくっきりときれいに撮影します。また、お好みで白黒や反転に仕上げます。
	料理	テーブル上を見たままに鮮やかに仕上げます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、撮影モードを選ぶ

例として（風景モード）を選択します。

3 OKボタンを押す

ピクチャーモード

4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- （キャンドルライトモード）の記録サイズは4Mに固定され、他のサイズに変更できません。
- （スポーツモード）または（ペットモード）を選んだ場合、自動追尾AFが働き、シャッターボタンを半押ししてからも被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。
- ピクチャーモードでは、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスが自動的に各モードの初期値に設定されます（設定値は変更できません）。

ペットを撮影する（ペットモード）

ペットモードでは、ペットの毛色を活かしてきれいに写すことができます。撮りたいペットの毛色が白っぽいか、黒っぽいか、中間の色かでアイコンの色を選択してください。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で を選ぶ

3　OKボタンを押す

ペット選択画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で を選ぶ

ペットアイコンには犬柄と猫柄の2タイプがあります。
（犬アイコンと猫アイコンは絵柄が違うだけで、撮影結果に与える効果は同じです。お好みで使い分けてください。）

5　OKボタンを押す

ペットモードが選択され、撮影できる状態になります。

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

（ペットモード）を選んだ場合、自動追尾AFが働き、シャッターボタンを半押ししてからも被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。

4 撮影

テキストを撮影する（テキストモード）

文字をくっきりと読みやすく撮影することができます。大事な書類を画像にして保存するときやテキストの文字が小さくて読みにくいときに便利です。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）でを選ぶ

3　OKボタンを押す

テキスト選択画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）でを選ぶ

	カラー	テキストを元の色をまま撮影します。
	カラー反転	カラーが反転します。
	白黒	テキストを白黒で撮影します。
	白黒反転	白黒が反転するように撮影します。

十字キー（◀▶）でコントラストを調整する

5　OKボタンを押す

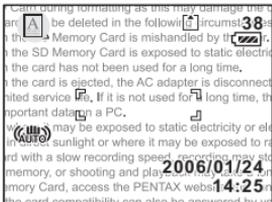
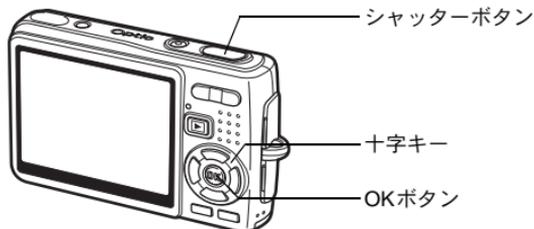
テキストモードが選択され、撮影できる状態になります。

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

シャッターボタン
十字キー
OKボタン

暗いシーンを撮影する（夜景モード）

夜景など暗いシーンに適切な設定で、撮影します。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、（夜景モード）を選ぶ

3 OKボタンを押す

4 シャッターボタンを半押しする

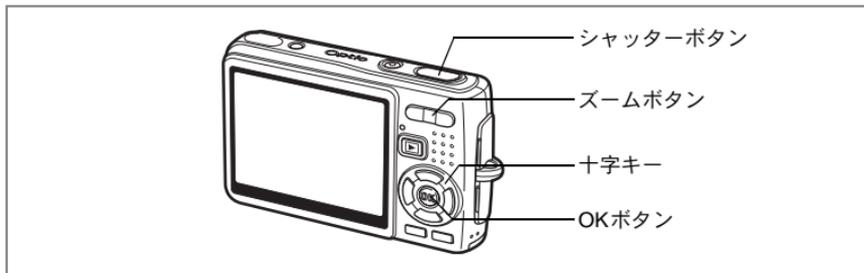
ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

遅いシャッター速度（約1/4秒以下）での撮影では、撮影後に画像からノイズを取り除く機能が働くため、記録時間が長くなります。

注意

暗いシーンでの撮影ではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれしないよう、手ぶれ補正機能を使用するか、カメラを三脚などに固定して撮影してください。（☞p.50）

動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（動画モード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

以下の撮影情報が液晶モニターに表示され、動画撮影が行える状態になります。

1 動画モードアイコン　2 発光禁止マーク
3 カード／内蔵メモリー　4 撮影可能時間
5 動画手ぶれ補正（オン）

4　シャッターボタンを押す

撮影を開始します。ズームボタンで画像の大きさを切り替えることができます。

：被写体が大きく写ります。
：被写体が小さく写ります。

5　シャッターボタンを押す

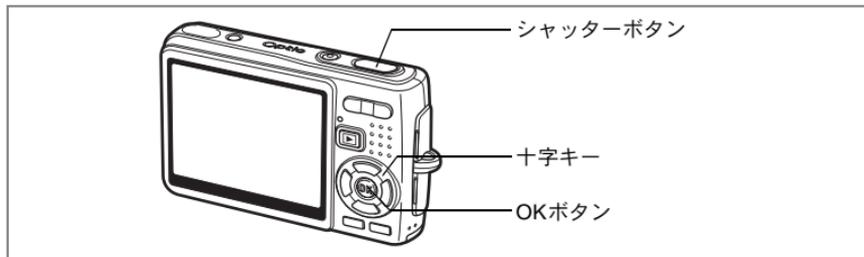
撮影を終了します。

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

- 動画モードでは、ストロボは発光しません。
- 動画モードでは、連続撮影はできません。
- 動画モードでは、リモコンは使用できません。
- 動画モードでデジタルズームを使用するには、動画手ぶれ補正をオフにしてください。
- 動画モードで撮影中は光学ズームが使えません。
- 動画モードでは、AFエリアはスポット、フォーカスリミットとAF補助光はオフに固定されます。フォーカスモードがAF、マクロ、あるいはスーパーマクロのとき、動画撮影開始直前にAF動作が1回行われます。

動画を再生する☞p.104

グリーンボタンに「動画」を登録した場合、通常の撮影モードでグリーンボタンを押すと動画モードに移行します。（☞p.88）

フレーム合成モードで撮影する

フレーム合成機能を使って飾り枠付きの画像を撮影できます。カメラにはあらかじめ3種類のフレームが登録されています。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、♥（フレーム合成）を選ぶ

3　OKボタンを押す

フレーム選択画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）でフレームを選ぶ

5　OKボタンを押す

被写体がフレームの中に表示されます。

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4
撮影

7 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 記録サイズは3Mに固定され、他のサイズに変更できません。
- フレーム合成モードでは、連続撮影はできません。

新しく入手したフレームを登録する

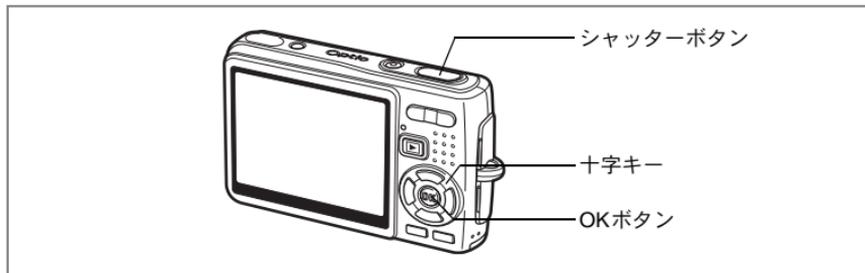
手順3でグリーンボタンを押すと、フレーム登録画面に切り替わり、ホームページなどから入手したフレームを使用できます。内蔵メモリー内の3つのフレームと置き換えて使用できます。新しく入手したフレームを使用するには、あらかじめSDメモリーカードにコピーしておきます。

SDメモリーカード内のフレームを登録すると、内蔵メモリーに登録されているフレームと置き換わり、内蔵メモリー内のフレームは削除されます。

1 フレームを選択する画面で、置き換えたいフレームを選び、グリーンボタンを押す

メッセージが表示された後、SDメモリーカード内の使用できるフレームが表示されます。

2 十字キー（◀▶）で登録するフレームを選び、OKボタンを押す

表示されているフレームの代わりに、選択したフレームが登録されます。

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒後、または2秒後に撮影します。

1 撮影モードで十字キー（▲）を押す

2 十字キー（◀▶）で⏲または⏲2sを選ぶ

3 OKボタンを押す

セルフタイマーを使って撮影できる状態になります。

ドライブモード
セルフタイマー
OK 決定

4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

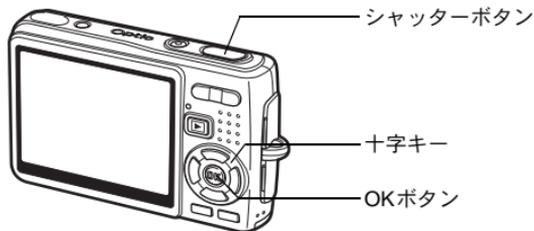
5 シャッターボタンを全押しする

⏲ セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが約7秒間点灯します。セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約3秒後に撮影されます。

⏲2s セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約2秒後に撮影されます。

セルフタイマー作動中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。

- セルフタイマー作動中に、液晶モニターにカウントダウンが表示されます。
- カウントダウン中にシャッターボタンを半押しするとカウントダウンを中止し、全押しするとカウントダウンをやり直します。

こんなときには「ピントが合わない」☞p.166

連続して撮影する（連続撮影）

ドライブモードを連続撮影に切り替えます。シャッターボタンを押している間、連続して撮影できます。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◀▶）で☐を選ぶ

3　OKボタンを押す

連続撮影できる状態になります。

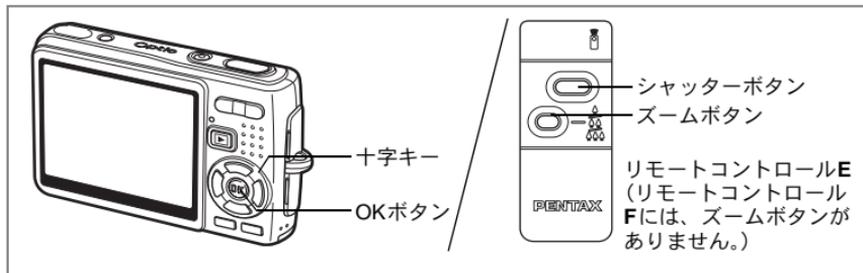
4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。

- SDメモリーカードまたは内蔵メモリーの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。

- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- 動画モード、フレーム合成モードでは、連続撮影はできません。
- ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目で固定されます。

リモコンを使って操作する（別売）

ドライブモードをリモコン撮影に切り替え、リモートコントロールEまたはF（別売）を使って撮影が可能です。

リモコンを使って撮影する

1　撮影モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◀▶）で 3s または を選ぶ

3　OKボタンを押す

セルフタイマーランプがゆっくり点滅し、リモコンで撮影できる状態になります。

4　リモコンのシャッターボタンを押す

3s　セルフタイマーランプが速く点滅し、約3秒後に撮影されます。
　すぐに撮影されます。

- セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。
- 動画モードでは、リモコンは使用できません。

4
撮影

リモコンを使ってズームを変更する

リモートコントロールE（別売）では、シャッターボタンによる撮影のほか、ズームボタンを使ってズーム倍率を変えることができます。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◀▶）で 3s または を選ぶ

3s でも でも動作は同じです。

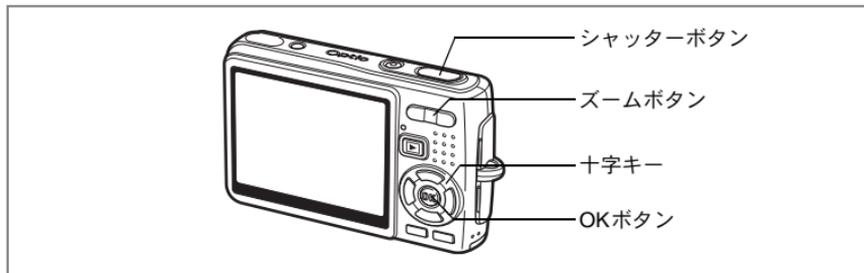
3　リモコンのズームボタンを押す

押すたびにズーム位置が望遠、中間、広角の3段階で切り替わります。

スーパーマクロモードでは、リモコンでズーム倍率を変更できません。マクロモードでは変更可能です。

- 本体のボタンは、通常と同じように操作できます。
- リモコンの届く距離は、カメラ正面から約4m程度です。
- リモコンを使ってズームを変更できるのは、光学ズーム域のみです。デジタルズーム域は使えません。

リモコン用電池の寿命

リモコンからカメラへ約30,000回信号を送信することができます。電池の交換は最寄りのペンタックスお客様窓口にご相談ください。（交換は有料になります）

ズームを使って被写体の大きさを変える

撮影する範囲の望遠／広角を調整し、被写体の大きさを変えて撮影できます。

1 撮影モードでズームボタンを押す

♠ 望遠：被写体が大きく写ります。
♠♠♠ 広角：被写体が小さく写ります。

デジタルズーム機能がオフのときは、3倍までの光学ズーム撮影となります。デジタルズーム機能がオンのときは、被写体をさらに最大12倍相当まで拡大して撮影できます。

デジタルズーム時

設定したズーム位置を保存する☞p.94

動画撮影中は光学ズームは使用できません。

デジタルズーム機能を設定する

初期設定では、デジタルズームは☑（オン）に設定されています。光学ズーム領域だけを使って撮影したい場合は、□（オフ）に設定します。

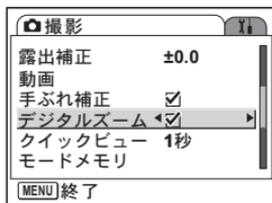
1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

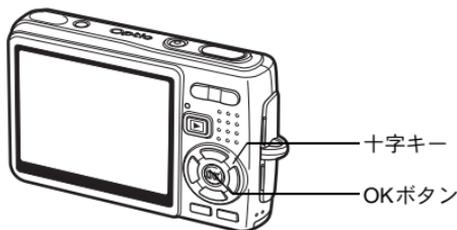
2 十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

4 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

デジタルズーム機能のオン／オフを保存する☞p.94

動画モードでデジタルズームを使用するには、動画手ぶれ補正をオフにしてください。

撮影のための機能を設定する

フォーカスの設定を変える

フォーカスモード

AF	オートフォーカスモード	シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。被写体までの距離が約35cm以上のときに使用します。
🌷	マクロモード	被写体までの距離が約12cm～40cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。
S🌷	スーパーマクロモード	被写体までの距離が約6cm～15cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。
PF	パンフォーカスモード	近くの被写体と遠くの景色を一緒に撮るときや、被写体にフォーカスが合わせにくいときに使います。 ピントが合うのは以下の範囲です。 静止画撮影時： 約2.3m～∞（ワイド端）、約9.3m～∞（テレ端） 動画撮影時： 約0.9m～∞（ワイド端）、約3.7m～∞（テレ端）
▲	無限遠モード	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアルフォーカスモード	手動でピントを合わせます。

フォーカスモードを保存する☞p.94

1　撮影モードで十字キー（▶）を押す

2 十字キー（▲▼）でフォーカスモードを選ぶ

3 OKボタンを押す

設定したフォーカスモードで撮影できる状態になります。

AF補助光について

- 暗いところでオートフォーカス撮影（ピント合わせ動作）を行うと、被写体に対してAF補助光が照射されることがあります。
- 本製品のAF補助光は、LEDに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1に適合しています。AF補助光を直接見ても安全上の問題はありませんが、多少まぶしく感じますので、発光部を至近距離から直接のぞきこむことはしないでください。

- フォーカスモードの初期値は「オートフォーカスモード」です。
- 「スーパーマクロモード」では、ズームがワイド端に固定されます。
- 動画モードでフォーカスモードが AF、マクロ、あるいはスーパーマクロのとき、動画撮影開始直前にAF動作が1回行われます。

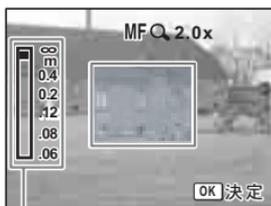
マニュアルでフォーカスを設定する

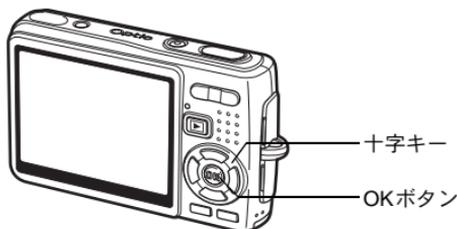
MF（マニュアルフォーカス）でOKボタンを押すと、画面中央部が2倍に拡大表示され、ピント調節ができます。十字キー（▲▼）を押すと、液晶モニターにインジケータが表示されます。これを目安に、十字キー（▲▼）で画面のピントを合わせます。

遠くにピントが合います。

近くにピントが合います。

インジケータ

4 撮影

フォーカス位置が決まり、OKボタンを押すとフォーカス位置が確定され、通常の撮影画面に切り替わります。
再度OKボタンを押すと、確定したフォーカス位置を変更できます。

- 設定しているときに、十字キー（▲▼）を押し続けると、速くピント合わせができます。
- 動画モードでマニュアルフォーカスを使用するときは、動画撮影開始前にピント合わせを行ってください。動画撮影中はピント調節ができません。

ストロボの発光方法を選択する

ストロボの発光方法

⚡A	オート	暗いときや逆光のときにストロボを発光します。
(発光禁止アイコン)	発光禁止	暗いときや逆光のときでも発光しません。夕景撮影やストロボの使えない場所（美術館など）での撮影にご利用ください。
⚡	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
(赤目A)	オート＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
(赤目⚡)	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。 常にストロボを発光します。
SOFT⚡	ソフト	ストロボの光量を絞り、近い距離でストロボを発光しても明るすぎないようにします。常にストロボを発光します。

- 撮影モードが（動画モード）にセットされているか、連続撮影または無限遠モードに設定されているときは、常に発光禁止になります。
- ストロボ発光の際、2回プリ発光（予備発光：人の目には1回の発光に見えます）した後、最後の発光で撮影を行います（赤目軽減機能を使用した場合は、プリ発光と最後の発光の間隔が長くなります）。

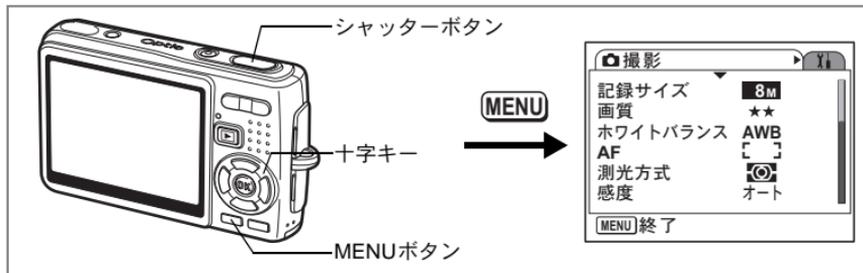
1　撮影モードで十字キー（◀）を押す

2　十字キー（▲▼）でストロボモードを選ぶ

3　OKボタンを押す

選択したストロボ発光方法で撮影できる状態になります。

ストロボ発光方法を保存する☞p.94

- 「マクロモード」でストロボを使用すると、画像が白トビ（露出オーバー）になることがあります。
- 「スーパーマクロモード」では、自動的にストロボ発光禁止に設定されますが、発光方法の切り替えは可能です。
- 「スーパーマクロモード」でストロボ撮影を行うと、画面の左下が暗くなります。
- 「夜景モード」でストロボを使用すると、暗いシーンではシャッター速度が遅くなりますので、手ぶれしないよう、手ぶれ補正機能を使用するか、カメラを三脚などに固定して撮影してください。（☞p.50）

静止画の記録サイズを選択する

画像の記録画素数を「8M」「5M」「4M」「3M」「2M」「1024」「640」から選択します。
画素数が多くなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。また、画像の容量は画質の設定（☞p.74）によっても異なります。

記録サイズ

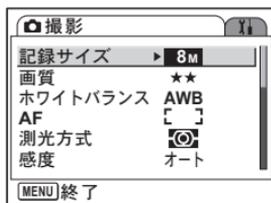
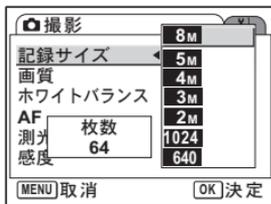
記録サイズ		用途
8M (3264×2448)	↑ 鮮明、きれい	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集・加工など
5M (2592×1944)		
4M (2304×1728)		
3M (2048×1536)		
2M (1600×1200)		はがきサイズプリント
1024 (1024×768)		ホームページ掲載、電子メール添付など
640 (640×480)		

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

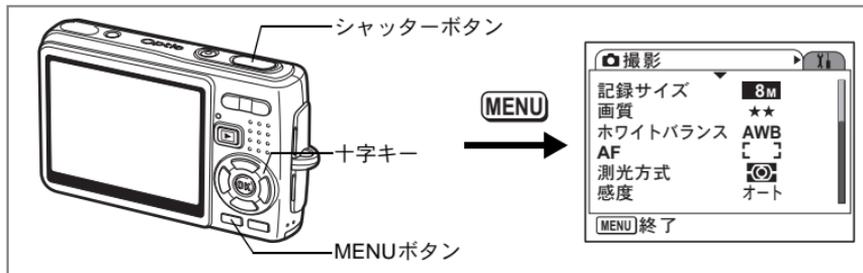
2　十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

5 シャッターボタンを半押しする

撮影ができる状態になります。

- 記録サイズを大きくすると、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。
- 記録サイズの設定は、電源をオフにしても保持されます。

記録サイズと画質☞p.24

静止画の画質を選択する

画像の圧縮率が選べます。
★の数が多いほど、画像はきれいになり容量が増えます。なお、画像の容量は、記録サイズの設定（☞p.72）によっても異なります。

画質

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

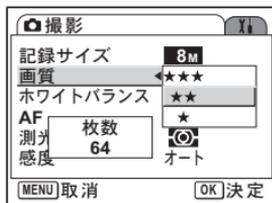
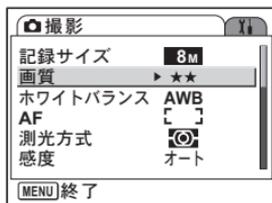
2　十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

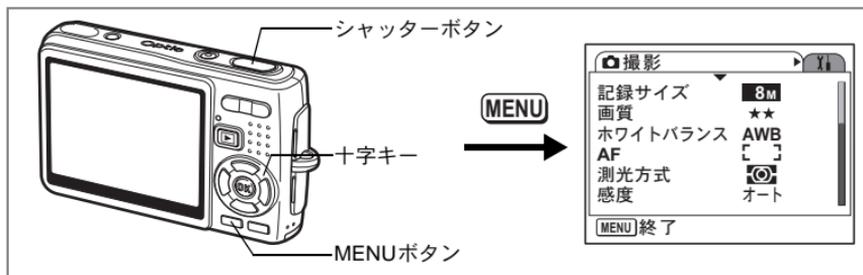
3　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で画質を切り替える

5　シャッターボタンを半押しする。

撮影ができる状態になります。

画質の設定は、電源をオフにしても保持されます。

記録サイズと画質☞p.24

ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて色合いを調整する方法を選択します。オートではカメラが自動的に調整し、自然な色合いで撮影します。マニュアルでは白く写したいものを基準として、撮影者が調整値を決定できます。また、天候や照明の種類に合わせてその他のホワイトバランスを選び、本来の色合いで撮影することもできます。

ホワイトバランス

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
☼	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
⌂	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
-Ö-	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
蛍	蛍光灯	蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
⊒	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「ホワイトバランス」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ホワイトバランス選択画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で設定を選ぶ

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

ホワイトバランスを保存する☞p.94

マニュアルで設定する

あらかじめ、白い紙などホワイトバランスの調整に用いる素材を用意しておきます。

1 「ホワイトバランス」選択画面で⊒（マニュアル）を選ぶ

2 ホワイトバランスの調整に用いる素材（白い紙など）にレンズを向け、液晶モニターいっぱいに表示されるよう、カメラを構える

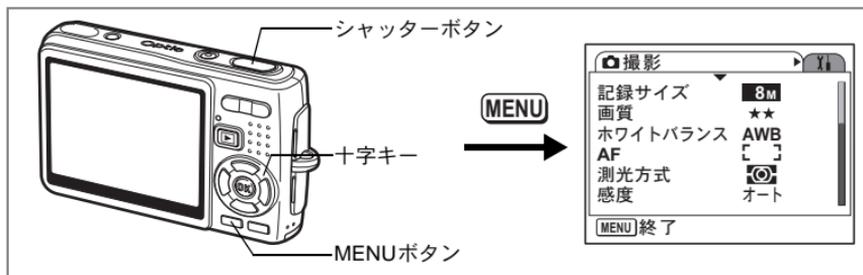
3 グリーンボタンを押す

ホワイトバランスが自動的に調整されます。
ホワイトバランスが自動調整されると、液晶モニターに「完了」と表示されます。

4 OKボタンを押す

今行った設定が保存され、「撮影」メニューに戻ります。

5 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

オートフォーカス条件を設定する

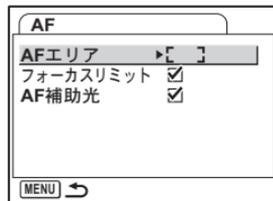
オートフォーカスの範囲や方式を設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「AF」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

オートフォーカス設定画面が表示されます。

オートフォーカス範囲を設定する（AFエリア）

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を設定します。

AFエリア

[ ]	マルチ	画面中央部の広範囲（AFエリア枠内）を測距し、一番近いものにピントを合わせます。
[ ]	スポット	測距する範囲（AFエリア枠）を絞り込み、特定の被写体にピントを合わせやすくします。
	自動追尾AF	液晶モニター表示中は常にピントを合わせ続けます。

4　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

5　十字キー（▲▼）でAFエリアを切り替える

6　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

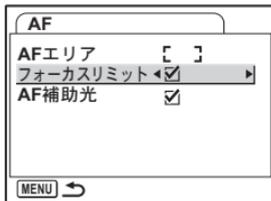
オートフォーカスの設定を保存する☞p.94

フォーカスリミットを設定する

レンズの移動範囲を状況に応じて制限します。
フォーカスリミットをオンにすると、レンズの移動が通常の撮影では遠距離側に、マクロ撮影では近距離側に制限されます。素早いピント合わせが可能になります。

4 十字キー（▲▼）でフォーカスリミットを選ぶ

5 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

6 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

AF補助光を設定する

補助光を設定して、被写体が暗く、オートフォーカスが正確に作動しない環境でピントを合わせやすくします。

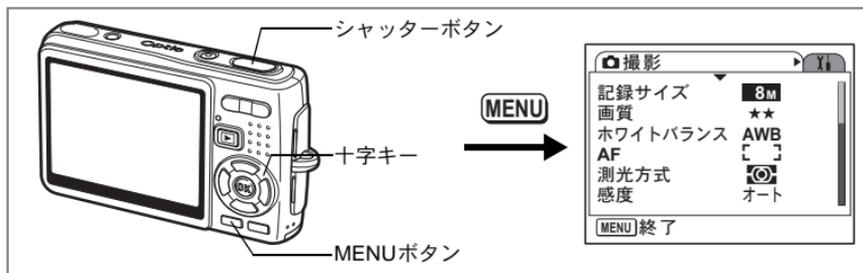
4 十字キー（▲▼）でAF補助光を選ぶ

5 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

6 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

本製品のAF補助光は、LEDに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1に適合しています。AF補助光を直接見ても安全上の問題はありませんが、多少まぶしく感じますので、発光部を至近距離から直接のぞきこむことはしないでください。

撮影モードが（動画モード）、（風景モード）、（キャンドルライトモード）にセットされているか、フォーカスモードがパンフォーカス、無限遠、マニュアルフォーカスに設定されているときは、AF補助光は発光しません。ただし、（風景モード）と（キャンドルライトモード）の場合、AF補助光の設定をオンにすることで発光させることができます。

測光方式を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

測光方式

(分割アイコン)	分割	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
(中央部重点アイコン)	中央部重点	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
(スポットアイコン)	スポット	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「測光方式」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

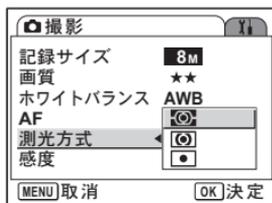
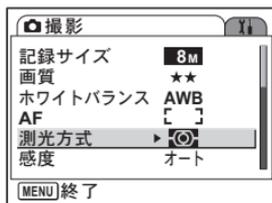
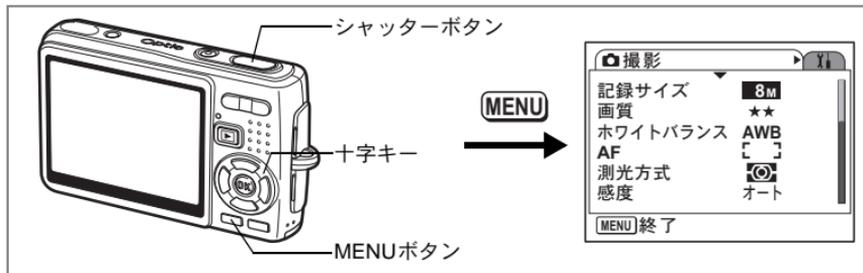
ポップアップが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で測光方式を選ぶ

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

測光方式を保存する☞p.94

4 撮影

感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定します。

感度

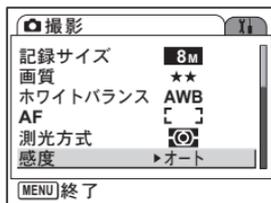
オート	ストロボが発光しないとき：感度50、100、200から自動選択 ストロボが発光するとき：感度50、100、200、400から自動選択 ただし、キャンドルライトモードでは、ストロボにかかわらず感度50、100、200、400、800から自動選択
50	• 感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ないシャープな画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。 • 感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を速くできます。画像にはノイズが増えます。
100	
200	
400	

1　撮影モードでMENUボタンを押す

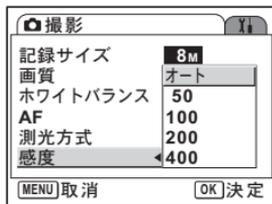
「撮影」メニューが表示されます。

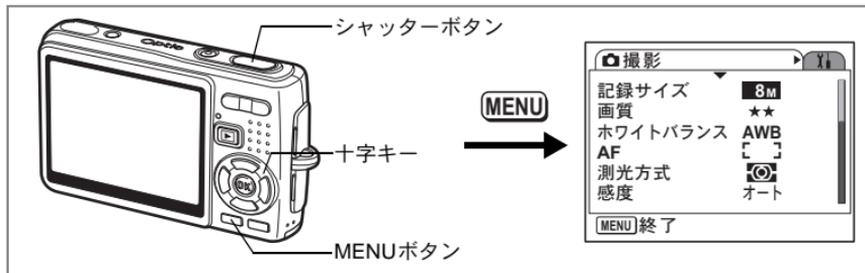
2　十字キー（▲▼）を押して「感度」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で感度を選ぶ

5 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

感度を保存する☞p.94

キャンドルライトモードでは、800も選択できます。

露出を補正する

撮影する画像全体の明るさを調整します。
意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影する際に利用します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

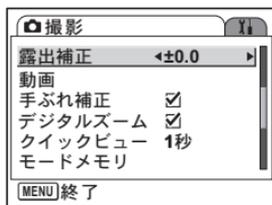
「撮影」メニューが表示されます。

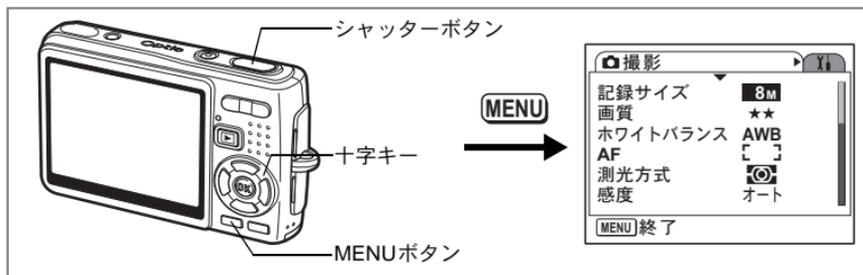
2 十字キー（▲▼）を押して「露出補正」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で露出補正量を選ぶ

明るくする場合は＋側に、暗くする場合は－側に設定します。
露出補正の値は、－2.0EV～＋2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます。

4 シャッターボタンを半押しする

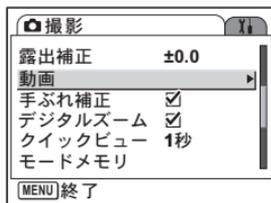
撮影できる状態になります。

露出補正値を保存する☞p.94

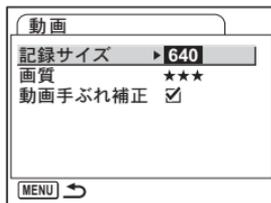
オートピクチャーモードでは、露出補正は±0.0に固定されます。

動画撮影のための条件を選択する

動画撮影のための記録サイズや画質などを選択します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で「動画」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

動画撮影の条件を選択する画面が表示されます。

動画の記録サイズを選択する

動画の記録サイズは640（640×480）、320（320×240）から選べます。記録サイズが大きくなるほど、ファイルの容量も増えます。画像の容量は画質の設定によっても異なります。

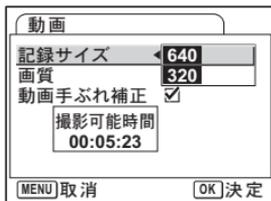
記録サイズ

640 (640×480)	VGAサイズで高画質な動画を楽しめます。ただし記録時間は短くなります。
320 (320×240)	画像の容量が小さくなるため、記録時間が長くなります。

4　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

5　十字キー（▲▼）で「記録サイズ」を選ぶ

それぞれの設定値を選んだ場合の撮影時間が表示されます。

6　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

動画の記録サイズと画質☞p.25

動画の画質を選択する

動画の画質は★★★、★★、★ から選べます。★ が多いほど、画像はきれいになり容量が増えます。

4　十字キー（▲▼）で「画質」を選ぶ

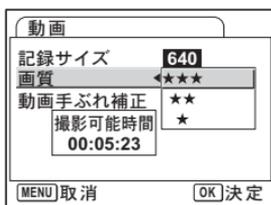
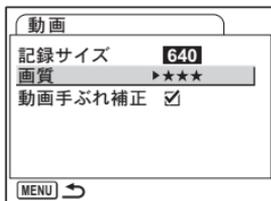
5　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

6　十字キー（▲▼）で画質を切り替える

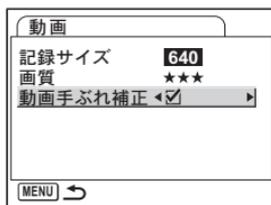
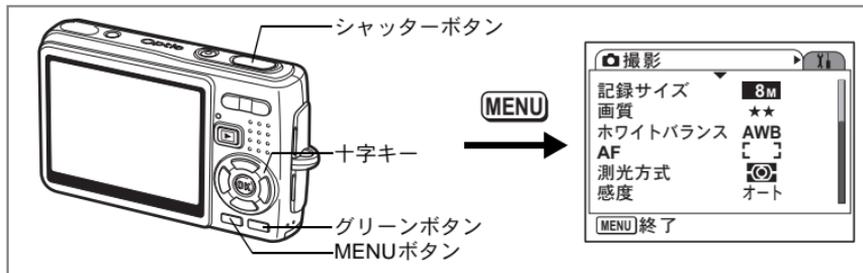
それぞれの設定値を選んだ場合の撮影時間が表示されます。

7　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

動画の記録サイズと画質☞p.25

動画の手ぶれを補正する

動画手ぶれ補正をオンにすると、動画撮影で発生しやすい手ぶれを自動的に補正します。静止画の手ぶれ補正については「手ぶれを補正して静止画を撮影する」(p.50)をご覧ください。

4　十字キー（▲▼）で「動画手ぶれ補正」を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

静止画の手ぶれ補正を設定する

静止画の手ぶれ補正機能を使用するために (p.50)、「撮影」メニューで手ぶれ補正機能をオンにしておきます。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「手ぶれ補正」を選ぶ

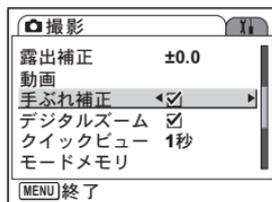
3　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

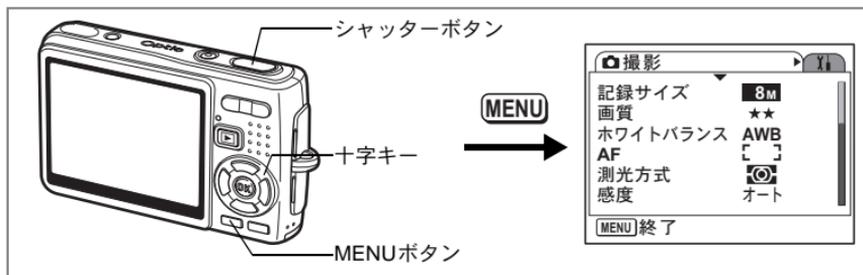
オンのとき：　撮影画面に（手ぶれ補正オン）が表示されます。

オフのとき：　撮影画面に（手ぶれ補正オフ）が表示されます。

撮影
露出補正 ±0.0
動画
手ぶれ補正 ☑
デジタルズーム ☑
クイックビュー 1秒
モードメモリ
MENU 終了

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

手ぶれ補正の☑（オン）／□（オフ）をグリーンボタンで切り替えることもできます。グリーンボタンに別の機能を割り当てているときは、この機能は使えません。（☞p.88）

4 撮影

クイックビューの時間を設定する

クイックビュー（撮影直後の画像表示）の表示時間をオフ（表示しない)、1秒、2秒、3秒、4秒、5秒から選択します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー(▲▼)で「クイックビュー」を選ぶ

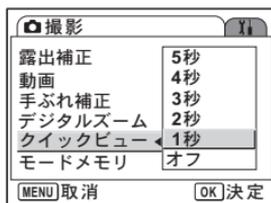
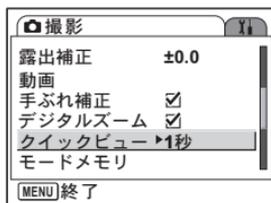
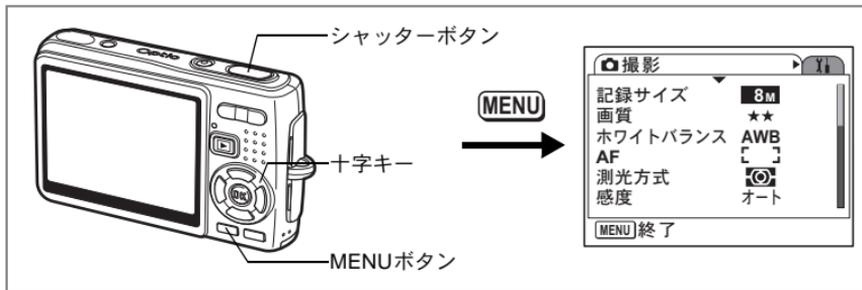
3　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

撮影
露出補正 ±0.0
動画
手ぶれ補正 ☑
デジタルズーム ☑
クイックビュー ▶1秒
モードメモリ
MENU 終了

4　十字キー（▲▼）で表示時間を選ぶ

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

クイックビューの設定は、電源をオフにしても保持されます。

グリーンボタンを設定する

グリーンボタンに手ぶれ補正（p.50）、撮影設定クリア（p.96）、動画（p.57）、Fn設定（p.89）のいずれかの機能を登録できます。グリーンボタンを押すだけで登録されている機能に切り替わります。

機能を登録する（手ぶれ補正）・（撮影設定クリア）・（動画）

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

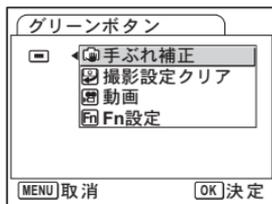
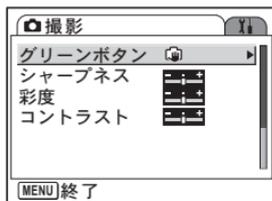
2　十字キー（▲▼）を押して「グリーンボタン」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

グリーンボタン設定画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で登録する機能を選ぶ

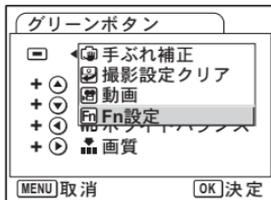
5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

初期設定では、「手ぶれ補正」が登録されています。

よく使う機能を設定する（Fn設定）

よく使う機能を十字キーに登録します。撮影時にメニューを表示しなくても、十字キーを押すことで直接機能を設定することができます。Fn設定は静止画撮影モードと動画撮影モードで異なる設定になっています。動画撮影時のFn設定を行うには、p.88の手順1で、動画モードでMENUボタンを押してください。

4　十字キー（▲▼）を押して「Fn設定」を選ぶ

グリーンボタン
手ぶれ補正
撮影設定クリア
動画
Fn設定
画質
MENU 取消　OK 決定

5　OKボタンを押す

Fn設定画面が表示されます。

6　十字キー（▲▼）で登録するキーを選ぶ

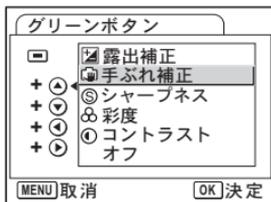
7　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

8　十字キー（▲▼）で登録する機能を選ぶ

9　OKボタンを押す

10　シャッターボタンを半押しする

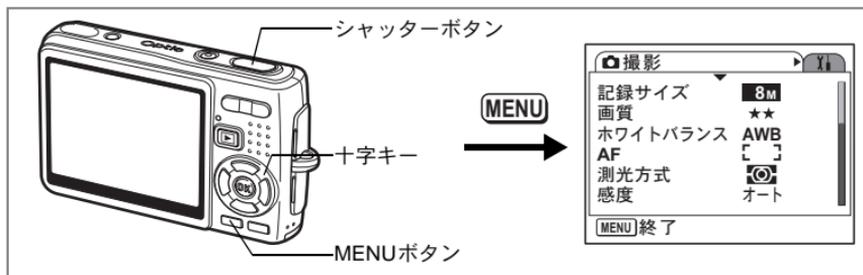
撮影できる状態になります。

この機能はグリーンボタンにFn設定を割り当てたときにのみ有効です。

各キーに登録することができる機能はひとつのみです。

Fn設定の初期値

	静止画撮影	動画撮影
初期設定	(▲)手ぶれ補正	(▲)動画手ぶれ補正
	(▼)露出補正	(▼)露出補正
	(◀)記録サイズ	(◀)記録サイズ
	(▶)画質	(▶)画質

Fn設定の設定可能項目

	静止画撮影	動画撮影
設定項目	記録サイズ	記録サイズ
	画質	画質
	ホワイトバランス	動画手ぶれ補正
	ＡＦエリア	ホワイトバランス
	測光方式	露出補正
	感度	シャープネス
	露出補正	彩度
	手ぶれ補正	コントラスト
	シャープネス	オフ
	彩度	
	コントラスト	
	オフ	

シャープネスを設定する

画像の輪郭をハードまたはソフトにします。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「シャープネス」を選ぶ

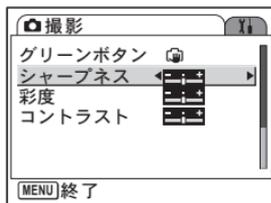
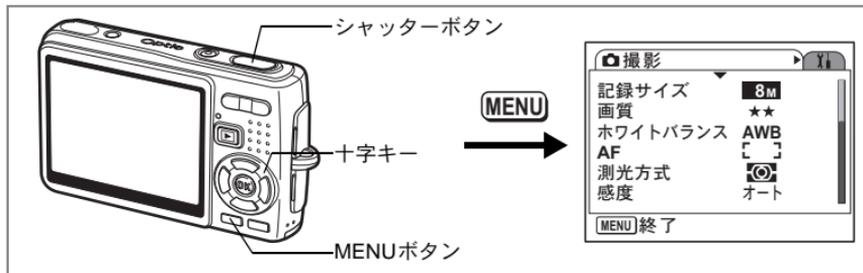
3　十字キー（◀▶）で「シャープネス」を切り替える

－側が弱、＋側が強になります。

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

シャープネスの設定は、電源をオフにしても保持されます。

シャッターボタン
十字キー
MENUボタン
MENU
撮影
記録サイズ 8M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度 オート
MENU 終了

彩度を設定する

色の鮮やかさを設定します。

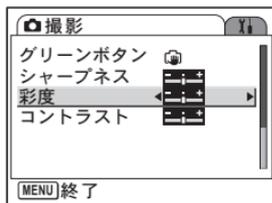
1　撮影モードでMENUボタンを押す

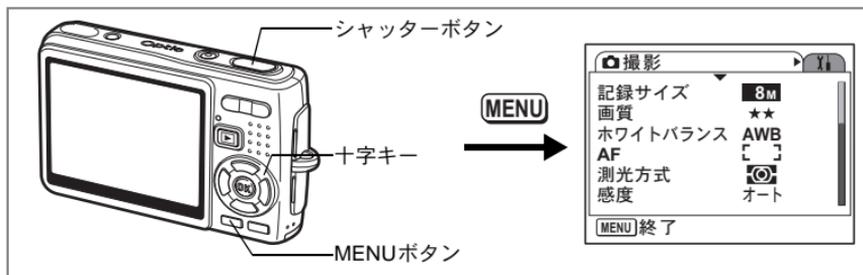
「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「彩度」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で「彩度」を切り替える

－側が彩度が弱く、＋側が彩度が強くなります。

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

彩度の設定は、電源をオフにしても保持されます。

コントラストを設定する

画像内の明暗差を設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

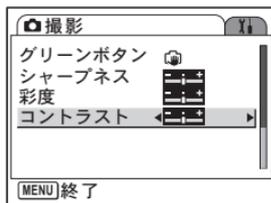
「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「コントラスト」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で「コントラスト」を切り替える

－側がコントラストが弱く、＋側がコントラストが強くなります。

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

コントラストの設定は、電源をオフにしても保持されます。

設定を保存する

メニュー項目を保存する（モードメモリ）

電源をオフにする際に、撮影のために設定した値を保存するかどうかを選びます。☑ を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリします。□ を選ぶと、電源をオフにしたときに初期設定に戻ります。

項目	内容の登録方法	初期設定
ストロボ	⚡ボタンで設定したストロボの発光方法を保存します。	☑
ドライブモード	撮影中に十字キー（▲）で選んだドライブモード（⏲ 連続撮影など）を保存します。	□
フォーカスモード	🌷ボタンで設定したフォーカスモードを保存します。	□
ズーム位置	ズームボタンで設定した光学ズーム位置を保存します。	□
MF位置	マニュアルフォーカスの位置を保存します。	□
ホワイトバランス	「📷撮影」メニューの「ホワイトバランス」での設定を保存します。	□
測光方式	「📷撮影」メニューの「測光方式」で設定した測光方式を保存します。	□
感度	「📷撮影」メニューの「感度」で設定した値を保存します。	□
露出補正	「📷撮影」メニューの「露出補正」で設定した露出補正値を保存します。	□
デジタルズーム	「📷撮影」メニューの「デジタルズーム」での設定（オン／オフ）を保存します。	☑
DISPLAY	液晶モニターの表示モードを保存します。	□
ファイルNo.	ファイル番号を保存します。SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連番でファイル名を作成します。	☑

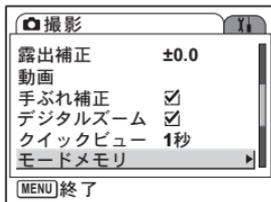
- 「モードメモリ」に含まれないメニュー項目は、電源をオフにした後も、各機能のメニュー画面で設定された値が保持されます。
- デジタルズーム領域で設定したズーム位置は、「モードメモリ」の「ズーム位置」をオンにしても保存されません。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

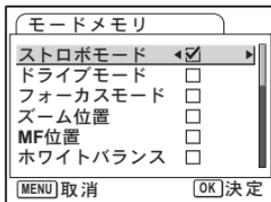
2　十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」メニューが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で項目を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

6　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

撮影機能を初期設定に戻す

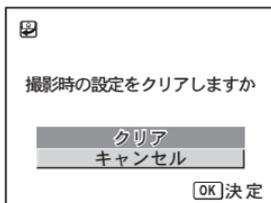
撮影機能の設定をすべて初期設定に戻します。
初期設定に戻るのは「📷撮影」メニューのすべての項目および撮影モード、ストロボ、ドライブ、フォーカス、ディスプレイ表示の設定です。
撮影メニューの詳細は、「メニュー一覧」(p.42) をご覧ください。

1 撮影モードでグリーンボタンを押す

「撮影時の設定をクリアしますか」というメッセージが表示されます。

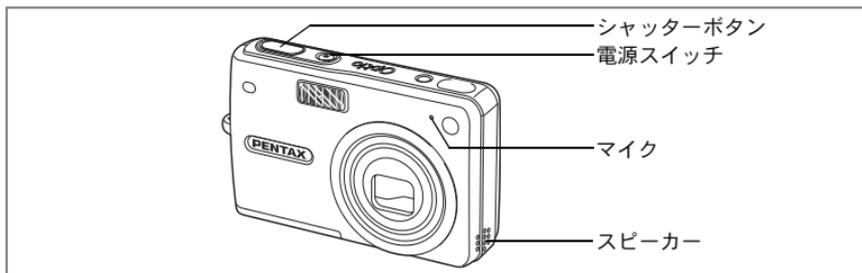
2 十字キー（▲▼）を押し、「クリア」を選ぶ

3 OKボタンを押す

撮影機能がすべて初期設定に戻り、撮影モードに戻ります。

この機能はグリーンボタンに撮影設定クリアを割り当てたときにのみ有効です。(☞p.88)

4 撮影

音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

音声を記録します。SDメモリーカードの空き容量に応じて、録音できる時間が表示されます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で🎙を選ぶ

3 OKボタンを押す

液晶モニターに録音可能な時間が表示されます。

1 残り録音可能時間
2 録音時間

4 シャッターボタンを押す

録音が開始されます。録音中は、アクセスランプが点灯します。
シャッターボタンを1秒以上押し続けると、押している間だけ録音され、シャッターボタンを離すと録音を停止します。

5 シャッターボタンを押す

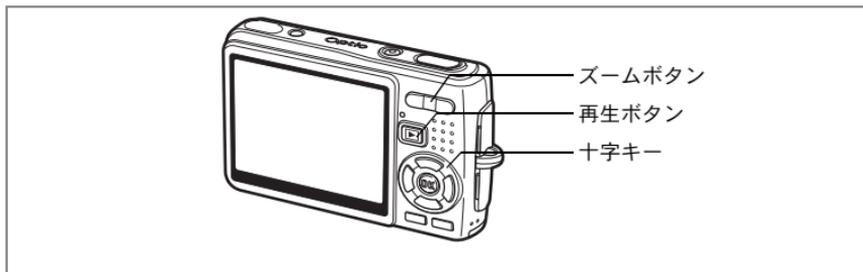
録音が終了します。残り録音可能時間が表示されます。

6 十字キー（▼）を押してモードパレットを開き、ボイスレコーディング以外のモードに切り替える

ボイスレコーディングモードが終了します。

- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。
- マイクはカメラ前面に付いています。最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。
- 録音中にMENUボタンを押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。

音声を再生する

ボイスレコーディングモードで録音した音声を再生します。

1　ボイスレコーディングモードで、▶再生ボタンを押す

2　十字キー（◀▶）で再生したい音声を選ぶ

3　十字キー（▲）を押す

再生を開始します。

ファイルの総録音時間

- **再生中にできる操作**

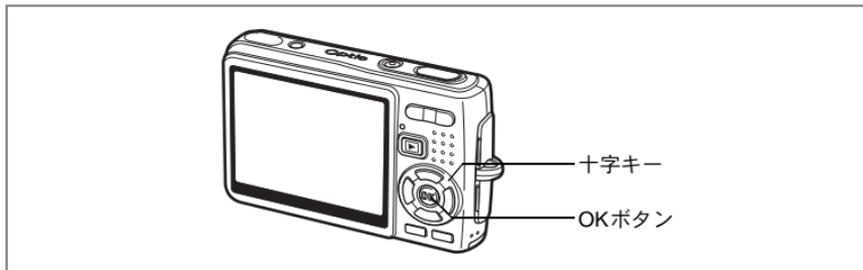
十字キー（▲）　一時停止する
再開するときはもう一度押す
インデックスがない場合
　十字キー（◀）　約5秒前に戻る
　十字キー（▶）　約5秒先に送る
インデックスがある場合
　十字キー（◀）　前のインデックス位置から再生
　十字キー（▶）　次のインデックス位置から再生
ズームボタン（♠）　音量を大きくする
ズームボタン（♠♠♠）　音量を小さくする

4　十字キー（▼）を押す

再生を停止します。

5 録音・再生

ボイスメモを付ける

撮影した画像にボイスメモを付けることができます。

ボイスメモを録音する

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で 🎙（ボイスメモ）を選ぶ

ボイスメモ
MENU取消　OK決定

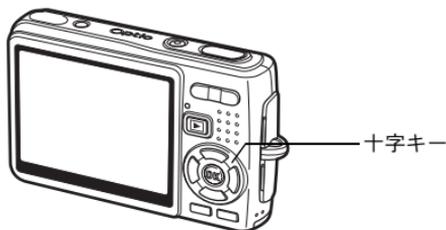
4　OKボタンを押す

ボイスメモの録音を開始します。最長30秒録音することができます。

5　OKボタンを押す

ボイスメモの録音が終了します。

- ボイスメモを付けると、画面に🎵が表示されます。
- すでにボイスメモが録音されている画像にボイスメモを上書きすることはできません。いったんボイスメモを消去してから、もう一度録音してください。（☞p.110）

プロテクト（O‒π）されている画像にボイスメモを付けることはできません。

ボイスメモを再生する

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを再生する画像を選ぶ

再生された画像に［♪］が表示されていれば、ボイスメモが録音されています。

2　十字キー（▲）を押す

録音されたボイスメモが再生されます。

再生中にできる操作

ズームボタン（♠）　音量を大きくする
ズームボタン（♠♠♠）　音量を小さくする

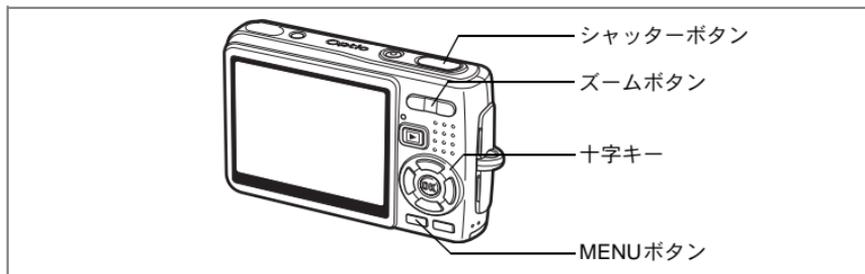
3　十字キー（▼）を押す

ボイスメモの再生を停止します。

ボイスメモを消去する☞p.110

5 録音・再生

画像を再生する

SDメモリーカードをセットしているときは、カードに記録された画像が再生されます。
カードをセットしていないときは、カメラの内蔵メモリーに記録された画像が再生されます。

静止画を再生する

▶再生ボタンを押します。
操作方法は「画像を再生する」(p.31)「前後の画像を再生する」(p.31)をご覧ください。

拡大して再生する

再生する画像を最大8倍まで拡大表示できます。

1 再生モードに入り、十字キー(◀▶)で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズームボタンの♠/🔍を押す

押すたびに1.3倍、2.0倍、2.6倍、4.0倍、5.3倍、8.0倍と一段階ずつ拡大します。
画像のどの部分を拡大しているかを画面左下のガイド表示で確認できます。

ガイド表示

- **拡大表示中にできる操作**
  十字キー(▲▼◀▶)　拡大位置を移動する
  ズームボタン(♠)　画像を大きくする
  ズームボタン(♠♠♠)　画像を小さくする

3 MENUボタンを押す

拡大再生が終了します。

クイック拡大をオン／オフする

拡大再生時にズームボタンの ♦/🔍 を1回押しただけで、最大倍率まで拡大できます。

1 MENUボタンを押す

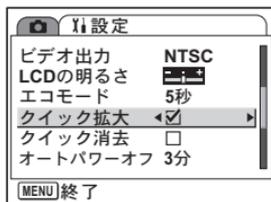
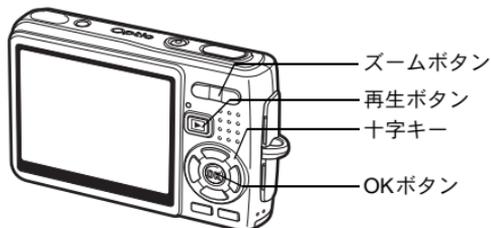
「📷撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▶）を押す

3 十字キー（▲▼）で「クイック拡大」を選ぶ

4 十字キー（◀▶）で ☑（オン）／□（オフ）を切り替える

5 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

動画を再生する

動画を再生します（音声も同時に再生されます）。再生中は液晶モニターに操作ガイドが表示され、再生、コマ送り（コマ戻し）再生、一時停止、音量調節などができます。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2 十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

- **再生中にできる操作**

十字キー（◀）	早巻き戻し再生する
十字キー（▶）	早送り再生する
十字キー（▲）	一時停止する
OKボタン	ディスプレイモードを切り替える（☞p.105）
ズームボタン♦♦♦/♦	音量を調整する

- **一時停止中にできる操作**

十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（▲）	一時停止を解除する（再生する）
OKボタン	ディスプレイモードを切り替える（☞p.105）

3 十字キー（▼）を押す

再生が停止し、1コマ目に戻ります。

4 ▶再生ボタンを押す

撮影モードに切り替わります。

早巻き戻し、早送り再生中に音声は出ません。

撮影時の情報を表示する

再生モード時にOKボタンを押すと、表示中の画像に関する撮影情報などの表示（ディスプレイモード）が切り替わります。動画再生時は「ヒストグラム表示」はありません。

通常表示

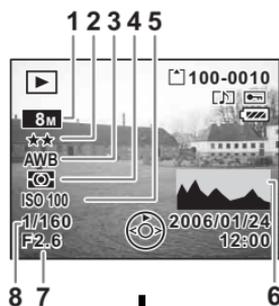
撮影時の情報を表示します。

1 ボイスメモマーク　**2** カード／内蔵メモリー
3 フォルダ名　**4** ファイル名
5 プロテクトマーク
6 バッテリー残量表示　**7** 撮影日時
8 十字キー操作ガイド

ヒストグラム表示

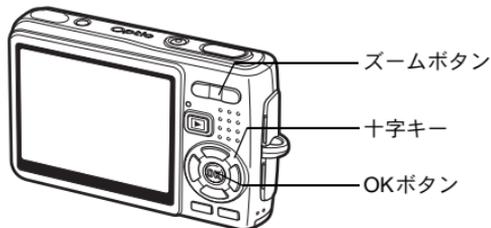
画像の明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 記録サイズ　**2** 画質
3 ホワイトバランス　**4** 測光方式
5 感度　**6** ヒストグラム
7 絞り値　**8** シャッター速度

1 2 3 4 5
100-0010
8M
AWB
ISO 100
1/160
F2.6
2006/01/24
12:00
8 7 6

情報表示なし

撮影時の情報を表示しません。

通常表示

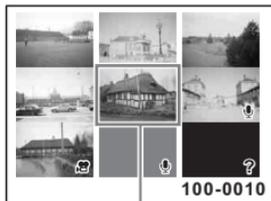
液晶モニターの表示モードを保存する☞p.94

9画像表示をする

撮った画像を液晶モニターに同時に9枚ずつ表示できます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で画像を選ぶ

2　ズームボタンの/を押す

選択画像

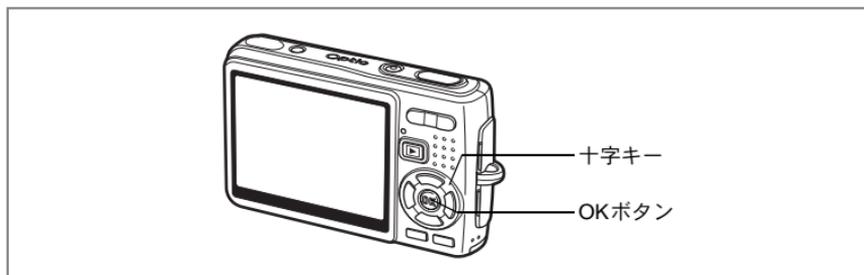
画像が9コマで1ページとなるように表示され、ページ単位で表示される画像が変わります。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。10以上の画像が記録されている場合、左上の画像を選択しているときに十字キー（◀）を押すと前のページが表示され、右下の画像を選択しているときに十字キー（▶）を押すと次のページが表示されます。

画像の上に表示される記号の意味を示します。

無印	：ボイスメモなしの静止画
（画像あり）	：ボイスメモ付きの静止画
	：動画（1コマ目の画像が表示されます。）
（画像なし）	：録音のみのファイル
	：表示できない画像

3　OKボタンを押す

選択した画像が全画面表示されます。

MENUボタン、OKボタン、ズームボタンの/を押しても、選択した画像の全画面表示に戻れます。

6 再生・消去・画像編集

スライドショウで連続再生する

SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された全画像を連続して再生します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で ▶ （スライドショウ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

5　十字キー（◀▶）で再生間隔を切り替える

3秒、5秒、10秒、20秒、30秒から選択できます。

6　十字キー（▼）で画面効果を選ぶ

7　十字キー（◀▶）で効果を選ぶ

ワイプ	画像を1枚ずつ左にスライドさせる紙芝居のような効果
フェード	現在の画像が徐々に消え、そこに次の画像が浮かび上がる効果
シュリンク	画像が中央部に向かって縮小する効果
オフ	切り替え効果なし

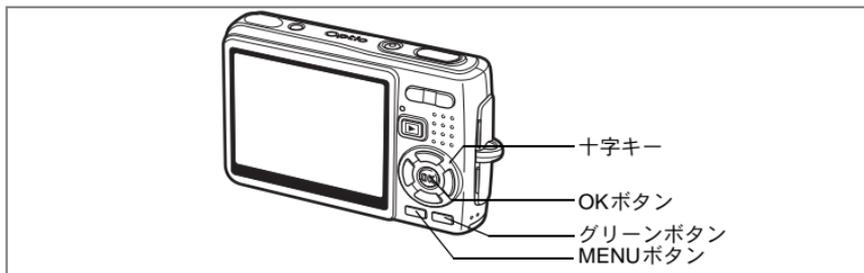
8　十字キー（▼）で効果音を選ぶ

9　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

10　OKボタンを押す

「スタート」と表示され、設定した時間間隔でスライドショウが始まります。スライドショウの途中でOKボタンを押すと、一時停止します。一時停止中にOKボタンを押すと再開します
OKボタン以外のボタンを押すと、「ストップ」と表示され、スライドショウが停止します。

- スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで何度でも繰り返します。
- 動画、ボイスメモ付き画像は、設定した再生間隔にかかわらず、すべて再生されてから次の再生に移ります。
- ボイスレコーディングモードで録音した音声は、再生されません。

画像・動画・音声を消去する

1画像・1動画・1音声ずつ消去する

1画像、1動画、1音声ずつ消去します。

消去した画像・動画・音声は復元できません。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像・動画・音声を選ぶ

2 グリーンボタンを押す

消去画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4 OKボタンを押す

表示されている画像・動画・音声が消去されます。

- 画像の消去は、クイックビュー（p.87）で画像表示中に行うこともできます。
- プロテクト（O━π）されている画像・動画・音声は、消去できません。（☞p.113）
- 「設定」の「クイック消去」をオンに設定すると、手順3の操作を省略することができます。（☞p.110）

6 再生・消去・画像編集

ボイスメモを消去する

ボイスメモ付きの画像の場合は、画像は消去せずにボイスメモのみを消去することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したいボイスメモ付きの画像を選ぶ

2　グリーンボタンを押す

消去画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「音声消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

ボイスメモが消去されます。

画像とボイスメモの両方を消去するには、手順3で「消去」を選びます。

クイック消去をオン／オフする

クイック消去をオンに設定すると、消去画面が表示されたとき、「消去」が選択された状態になり、消去手順が簡単になります。

1　MENUボタンを押す

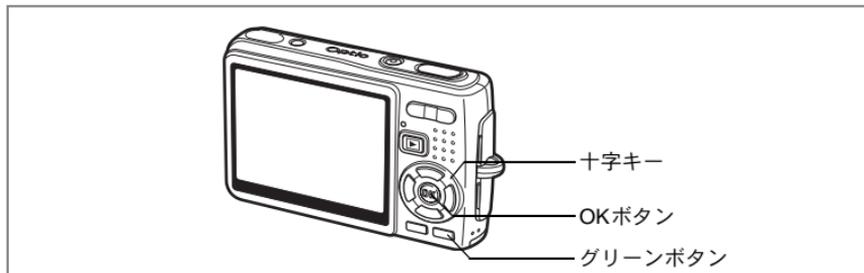
2　十字キー（▶）を押す

「設定」メニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「クイック消去」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

まとめて消去する

保存されている全画像・動画・音声を消去します。

消去した画像・動画・音声は復元できません。

1　再生モードに入り、グリーンボタンを2回押す

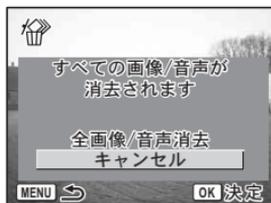
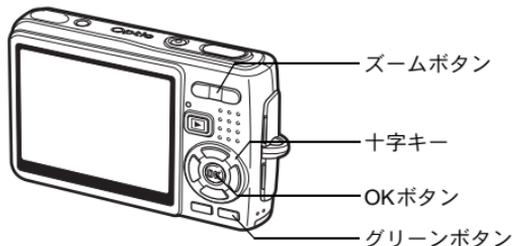
全画像・音声消去画面が表示されます。

2　十字キー（▲）で「全画像・音声消去」を選ぶ

3　OKボタンを押す

全画像・音声が消去されます。

プロテクト（O‑π）されている画像・動画・音声は消去できません。（☞p.113）

6 再生・消去・画像編集

選択して消去する（9画面表示で消去）

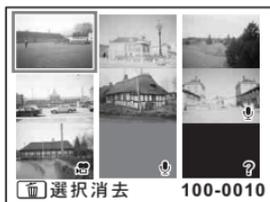
9画面表示で複数の画像や音声を選択し、一括して削除します。

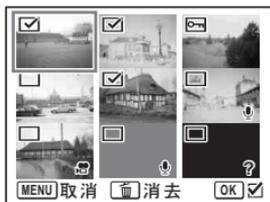
1　再生モードに入り、ズームボタンの ♣♣♣/⊞ を押す

画像が9コマずつ表示されます。

2　グリーンボタンを押す

画像や音声に□が表示されます。

選択消去　100-0010

3　十字キー（▲▼◀▶）で削除する画像または音声に移動し、OK ボタンを押す

画像が選択され、☑ が表示されます。
ズームボタンの ♣/🔍 を押すと、2秒間だけ選択した画像が1画面表示されますので、削除したい画像かどうかを確認できます。ただし、プロテクトされた画像は1画面表示できません。

4　グリーンボタンを押す

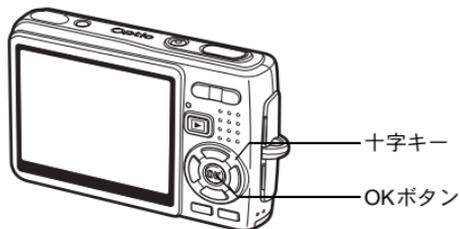
消去確認画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で「選択消去」を選ぶ

6　OK ボタンを押す

選択した画像や音声が消去されます。

メモ：プロテクト（O┳）されている画像・動画・音声は消去できません。

6 再生・消去・画像編集

消去できないようにする（プロテクト）

画像・動画・音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプロテクトする画像・動画・音声を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

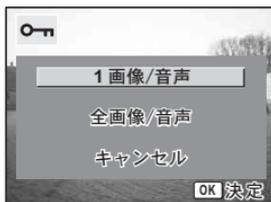
3　十字キー（▲▼◀▶）で O┳（プロテクト）を選ぶ

4　OKボタンを押す

プロテクト画面が表示されます。

画像・動画・音声をプロテクトする

5　十字キー（▲▼）で「1 画像／音声」を選ぶ

6　OKボタンを押す

7　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

8　OKボタンを押す

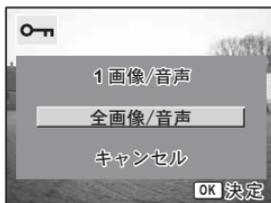
- プロテクトを解除するには、手順7で「解除」を選びます。
- プロテクトされた画像・動画・音声には、再生時にO┳が表示されます。

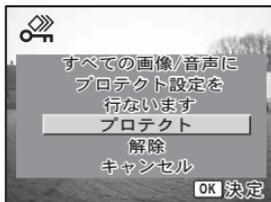
全画像・動画・音声をプロテクトする

全画像・動画・音声をプロテクトすることができます。

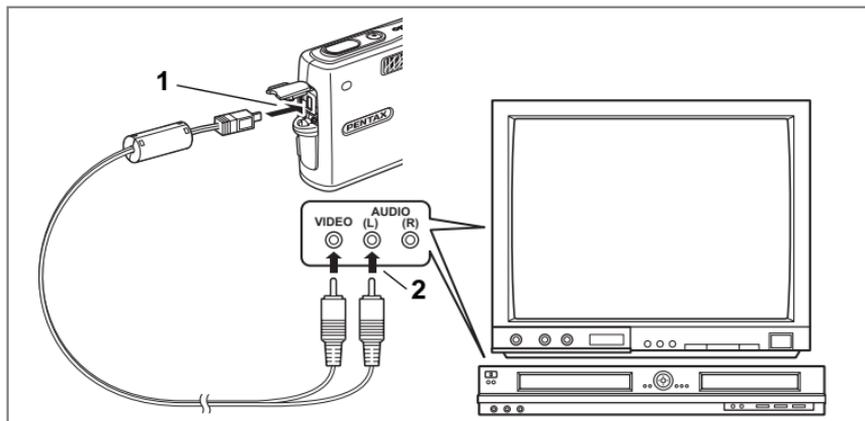
5　十字キー（▲▼）で「全画像／音声」を選ぶ

6　OKボタンを押す

「すべての画像／音声にプロテクト設定を行います」というメッセージが表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

8　OKボタンを押す

手順7で「解除」を選ぶと、全画像・動画・音声のプロテクト設定が解除されます。

プロテクトされた画像・動画・音声もSDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットすると消去されます。

AV機器で画像を見る

AVケーブルを使用すると、テレビなどビデオ入力端子を備えた機器をモニターにして撮影や再生、あるいは録画ができます。ケーブルを接続するときは、カメラとAV機器の電源を必ずオフにしてください。

1 PC/AV端子カバーを開き、AV端子に付属のAVケーブルを接続する

2 AVケーブルのもう一方の端子をAV機器に接続する

黄色（映像）　→　ビデオ（映像）入力端子
白（音声）　　→　音声入力端子
※ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

3 AV機器の電源をオンにする

カメラを接続した機器と、画像を映し出す機器が別の場合は、両方の電源をオンにします。
複数のビデオ入力があるテレビで画像を見るときは、ご使用のテレビの説明書をご確認のうえ、接続しているビデオ入力に切り替えてください。

4 カメラの電源をオンにする

ビデオの出力方式を切り替える☞p.151

- 長時間使用するときは、ACアダプタキットK-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。テレビなど接続する機器の使用説明書もご覧ください。
- 国や地域によっては、カメラのビデオ出力方式が初期設定（NTSC）になっていると、画像がうまく映らない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。
- テレビに接続している間は、カメラの液晶モニターはオフになります。

リモコンで再生する（別売）

カメラにAVケーブルが接続されているときには、リモートコントロールEまたはF（別売）を使って静止画を再生できます。

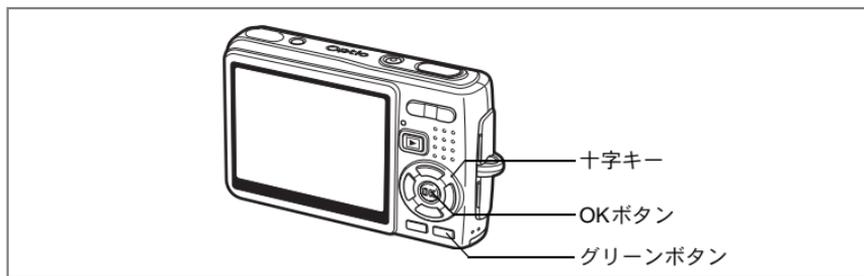
1　▶再生ボタンを押す

2　リモコンのシャッターボタンまたはズームボタンを押す

シャッターボタン：次の画像が表示されます。
ズームボタン：前の画像が表示されます。

- リモートコントロールFにはズームボタンがありませんので、シャッターボタン（次の画像表示）操作のみとなります。
- 動画や音声付き画像、音声のみのファイルは、リモコンで再生することができません。

プリントサービスの設定をする（DPOF）

SDメモリーカードに保存した画像は、DPOF（Digital Print Order Format）対応プリンターやラボプリントサービスでプリントできます。

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。
枚数：プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
日付：プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選ぶ

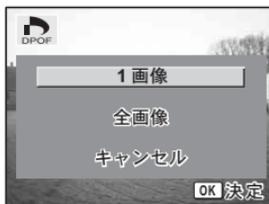
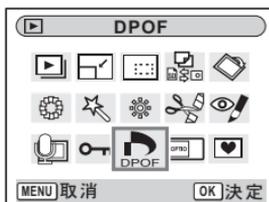
2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（DPOF）を選ぶ

4　OKボタンを押す

DPOF画面が表示されます。

5　OKボタンを押す

6 十字キー（▲▼）でプリント枚数を設定する

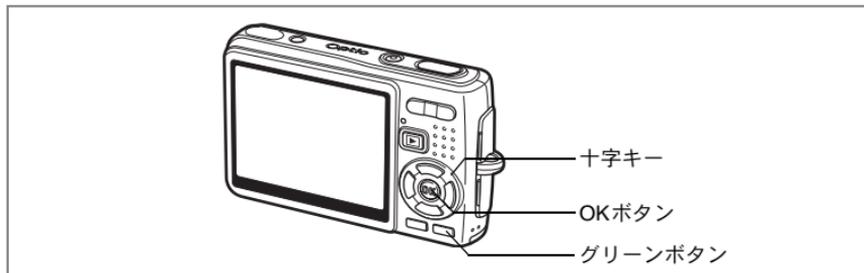
7 グリーンボタンで日付の ☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

8 OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

- すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン／オフが表示されます。
- DPOFを解除するには、枚数を「0」に設定して、OKボタンを押します。

- 動画や音声のみのファイルには、DPOF設定はできません。
- プリンターやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で日付をオンにしても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。

全画像を設定する

1　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（◀▼▲▶）で DPOF（DPOF）を選ぶ

3　OKボタンを押す

4　十字キー（▼）で「全画像」を選ぶ

5　OKボタンを押す

6　十字キー（▲▼）でプリント枚数を設定する

99枚まで設定ができます。

7　グリーンボタンで日付の ☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑ ：プリントに日付を入れます。
□ ：プリントに日付を入れません。

8　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

全画像設定でプリント枚数の指定をすると、すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。

- 全画像設定を行うと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 動画にはDPOF設定できません。

カメラを直接プリンターにつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSBケーブル（I-USB17）で、カメラをPictBridge対応プリンターに接続すると、パソコンを介さなくても、カメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリントする枚数は、カメラとプリンターを接続した状態で、カメラ側で設定します。

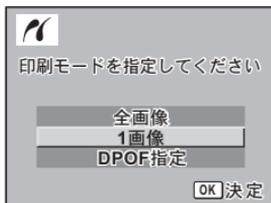
注意
- カメラをプリンターに接続するときは、AC アダプタキット K-AC8J（別売）のご使用をおすすめします。プリンターと通信中にバッテリーが消耗すると、プリンターが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- カメラからプリンターへのデータ転送中は、アクセスランプが点滅します。
- データ転送中にUSBケーブルを抜かないでください。
- プリンターの種類によっては、カメラ側の設定（DPOF の設定など）が一部しか反映されないことがあります。

カメラをプリンターに接続する

1 「設定」メニューの「USB接続」で「PictBridge」を選ぶ

☞「USB接続モードを変更する」（p.151）

2 カメラを付属のUSBケーブルでプリンターに接続する

PictBridgeメニュー画面が表示されます。

1画像ずつプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「1画像」を選ぶ

2　OKボタンを押す

1画像印刷画面が表示されます。

印刷モードを指定してください
全画像
1画像
DPOF指定
OK 決定

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

99枚まで設定ができます。

100-0010
この画像を印刷します
枚数　1　日付 □
日付
MENU 取消
OK 印刷

5　グリーンボタンで、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

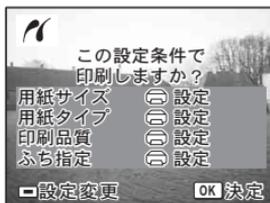
☑：プリントに日付を入れます。
□：プリントに日付を入れません。

6　OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
プリンター側の印刷設定でプリントするときは、OKボタンを押します。
印刷設定を変更するときは、手順7へ進みます。

7　グリーンボタンを押す

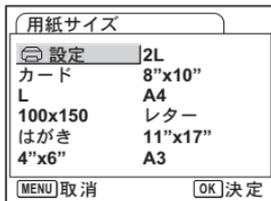
設定変更画面に変わります。

8　「用紙サイズ」を選び、十字キー（▶）を押す

9 十字キー（▲▼◀▶）で用紙サイズを選ぶ

お使いのプリンターで印刷可能な用紙だけが選択できます。

用紙サイズ

設定	2L
カード	8”x10”
L	A4
100x150	レター
はがき	11”x17”
4”x6”	A3

MENU 取消　OK 決定

10 OKボタンを押す

11 手順8～10の操作を繰り返して、「用紙タイプ」「印刷品質」「ふち指定」を設定する

設定を選択するとプリンターの設定にしたがいます。
用紙タイプは、★の数が多いほど高品質な用紙に対応します。
印刷品質は、★の数が多いほど高品質な印刷を行います。

12 OKボタンを2回押す

設定した値で印刷が開始されます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

全画像をプリントする

1 十字キー（▲▼）を押して「全画像」を選ぶ

2 OKボタンを押す

全画像印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で画像の確認ができます。

3 プリント枚数、日付の有無、印刷設定を確認して印刷する

設定のしかたおよび印刷については「1画像ずつプリントする」（p.121～122）の手順4～11をご覧ください。

プリントサービスの設定（DPOF）内容でプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「DPOF指定」を選ぶ

2　OKボタンを押す

DPOF指定印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像と印刷設定の確認ができます。

3　プリント枚数、日付の有無、印刷設定を確認して印刷する

プリント枚数、日付の有無の設定のしかたは「プリントサービスの設定をする」（p.117）をご覧ください。印刷については「1画像ずつプリントする」（p.121～122）の手順4～11をご覧ください。

プリンターからカメラを取り外す

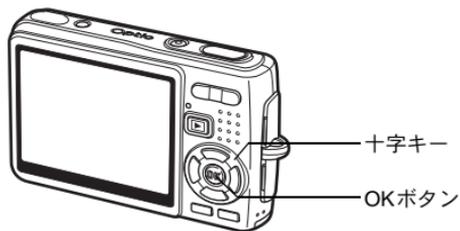
プリントが終了したら、カメラをプリンターから取り外します。

1　カメラの電源をオフにする

2　カメラからUSBケーブルを取り外す

3　プリンターからUSBケーブルを取り外す

カメラの電源をオフせずにカメラからUSBケーブルを取り外すと、収納再生モードになります。

画像を編集する

画像のサイズと画質を変更する

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを元のファイルサイズよりも小さくすることができます。カード／メモリがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きすれば、空き容量が増え、撮影を続けることができます。

1画像ずつリサイズする

サイズや画質を変更した画像は、元の画像に上書き保存することも、新規の画像として保存することもできます。

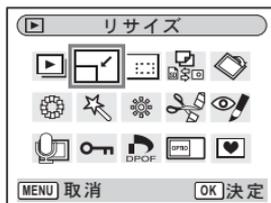
1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、リサイズしたい画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）を押して（リサイズ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

リサイズ画像の選択画面が表示されます。

5　十字キー（◀ ▶）で記録サイズを変更する

6　十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

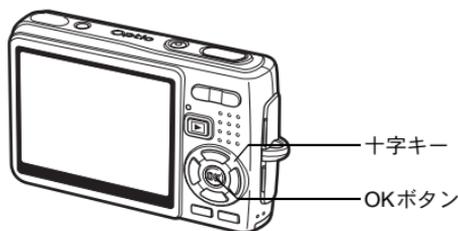
7　十字キー（◀ ▶）で画質を変更する

8　OKボタンを押す

9　十字キー（▲ ▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

10　OKボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。

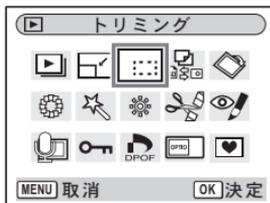
- 動画のサイズを変更することはできません。
- 元の画像の記録サイズよりも大きな記録サイズは選択できません。
- リサイズの記録サイズは、7M（3072×2304）、6M（2816×2112）も選べます。
- プロテクト（O┳┳）された画像は、上書き保存できません。
- リサイズできるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。

画像をトリミングする

画像の一部分をトリミングして、別の画像として保存します。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、トリミングしたい画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

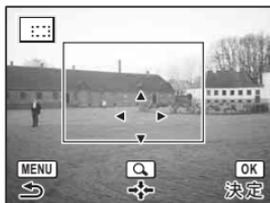
モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で ⬚（トリミング）を選ぶ

4　OKボタンを押す

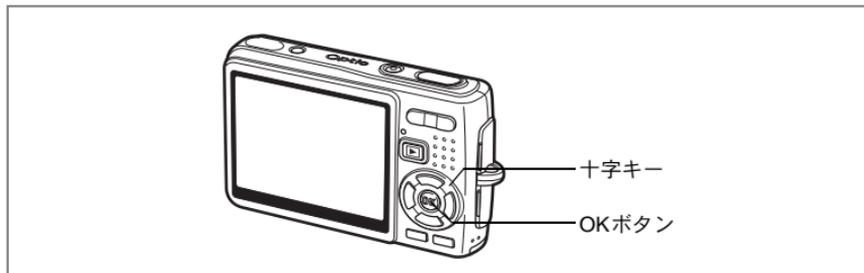
トリミング画面が表示されます。

5　トリミングする

- **トリミング画面でできる操作**

ズームボタン	トリミングサイズを変える
十字キー（▲▼◀▶）	トリミング位置を上下左右に移動する
MENUボタン	モードパレットに戻る

6　OKボタンを押す

トリミングされた画像が別の画像として保存されます。

- 動画はトリミングできません。
- 画像サイズは変更されて保存されます。
- トリミングできるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。

画像を回転表示する

静止画を回転して表示させます。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、回転表示させる画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で ◇（回転表示）を選ぶ

画像回転

MENU 取消　OK 決定

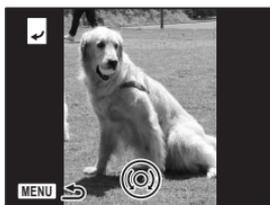
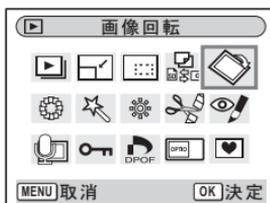
4　OKボタンを押す

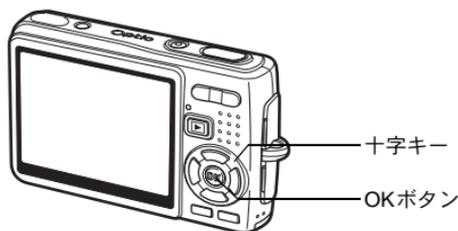
回転画面が表示されます。

5　十字キー（▶）または十字キー（◀）を押す

十字キー（▶）を1回押すごとに画像が時計回りに90度ずつ回転し、十字キー（◀）を1回押すごとに画像が反時計回りに90度ずつ回転します。

6　▶再生ボタンを押す

回転情報を保存して再生モードに戻ります。

- プロテクト（O━π）された画像は、回転表示はできますが、回転された状態は保存されません。
- 動画は回転表示されません。

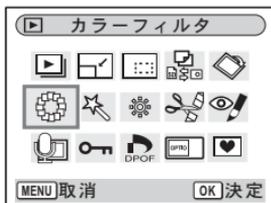
6 再生・消去・画像編集

カラーフィルタを使って編集する

撮影した静止画像に対してカラーフィルタ処理を行います。
白黒、セピア、カラー8色、白黒＋赤、白黒＋緑、白黒＋青の13種類から選べます。

1 再生モードで十字キー（◀▶）を押して、編集する画像を選ぶ

2 再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で（カラーフィルタ）を選ぶ

4 OKボタンを押す

カラーフィルタ画面が表示されます。

5 十字キー（▲▼）でフィルタを選ぶ

6 OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8 OKボタンを押す

カラーフィルタで編集された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

カラー（8色）を選ぶには

5　十字キー（▲▼）でカラーフィルタを選ぶ

カラーバーが表示されます。

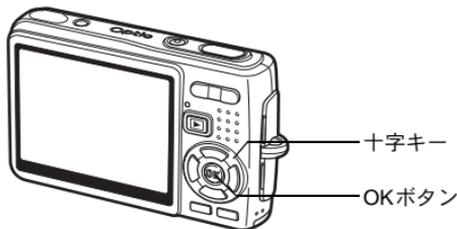
6　十字キー（◀▶）でカラーを選ぶ

7　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

8　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

9　OKボタンを押す

カラーフィルタで編集された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

デジタルフィルタを使って編集する

フィルターを使って、撮影した静止画像に特殊な加工を施します。フィルターはソフト、イラスト、特殊効果1、特殊効果2、スリムの5種類から選べます。

1 再生モードで十字キー（◀▶）を押して、編集する画像を選ぶ

2 再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で（デジタルフィルタ）を選ぶ

4 OKボタンを押す

デジタルフィルタ画面が表示されます。

5 十字キー（▲▼）でフィルターを選ぶ

6 OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8 OKボタンを押す

加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

スリムフィルタを設定するには

5　十字キー（▲▼）でスリムフィルタを選ぶ

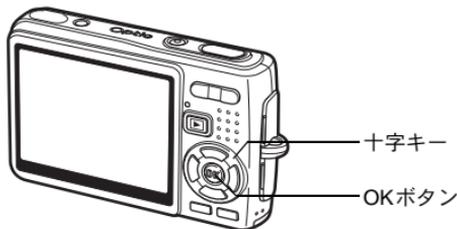
6　十字キー（◀▶）でスリム度を調整する

7　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

8　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

9　OKボタンを押す

加工された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

明るさフィルタを使って編集する

撮影した静止画像の明るさをフィルターで調節します。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、編集する画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で ☼（明るさフィルタ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

明るさフィルタ画面が表示されます。

5　十字キー（◀▶）で明るさを調節する

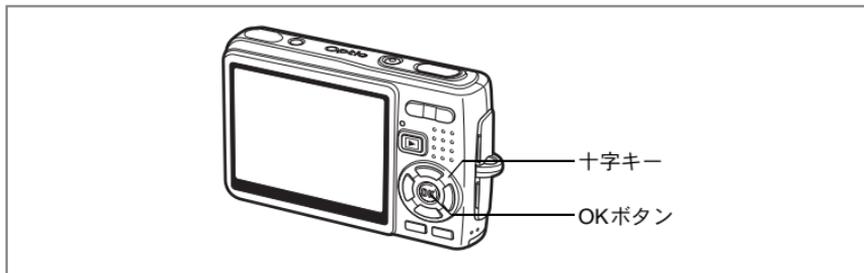
十字キー（▶）を押すたびに一段階ずつ明るくなり、十字キー（◀）を押すたびに一段階ずつ暗くなります。明るさは－2.0EV～＋2.0EVの範囲で1/3EV単位で選択できます。

6　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8　OKボタンを押す

明るさフィルタで編集された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

動画を編集する

撮影した動画中のひとコマを切り出して静止画として保存したり、動画を分割したりすることができます。

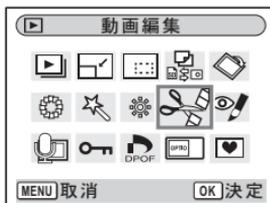
1 再生モードで十字キー（◀▶）を押して、編集する動画を選ぶ

2 再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

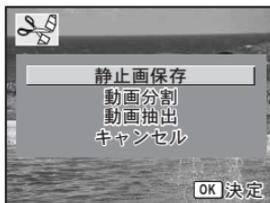
3 十字キー（▲▼◀▶）で ✂（動画編集）を選ぶ

4 OKボタンを押す

動画編集画面が表示されます。この画面で各編集機能を選択します。

動画の1コマを静止画として保存する

5 十字キー（▲▼）を押して「静止画保存」を選ぶ

6 OKボタンを押す

コマ選択画面が表示されます。

7 十字キー（◀▶）を押して保存するコマを選ぶ

8 OKボタンを押す

選択したコマが静止画として保存されます。

動画を分割する

5 動画編集画面で「動画分割」を選ぶ

6 OKボタンを押す

分割位置選択画面が表示されます。

7 十字キー（▲▼◀▶）を押して分割位置を決める

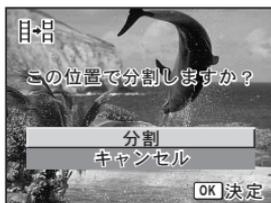
▲ ：再生する、一時停止する
▼ ：停止する
◀ ：コマ戻しする（一時停止中のみ可能）
▶ ：コマ送りする（一時停止中のみ可能）

8 OKボタンを押す

分割確認画面が表示されます。

9 十字キー（▲▼）で「分割」を選ぶ

10 OKボタンを押す

指定位置で分割した動画がそれぞれ別ファイルに保存されます。

動画抽出する

5　動画編集画面で「動画抽出」を選ぶ

6　OKボタンを押す

動画抽出画面が表示されます。

7　十字キー（▲）で動画を再生して、抽出する動画の先頭で十字キー（▲）を押す

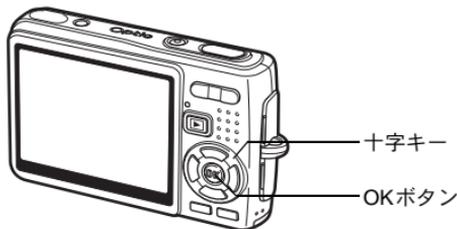
動画が一時停止します。一時停止中は十字キー（◀▶）でコマ送り・コマ戻しができます。

8　OKボタンを押す

9　十字キー（▲）で動画を再生して、抽出する動画の後尾で十字キー（▲）を押す

動画が一時停止します。一時停止中は十字キー（◀▶）でコマ送り・コマ戻しができます。

10　OKボタンを押す

抽出した動画が新規保存されます。

赤目を補正する

ストロボ撮影で人物の目が赤く写った画像を補正します。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、赤目補正する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（赤目補正）を選ぶ

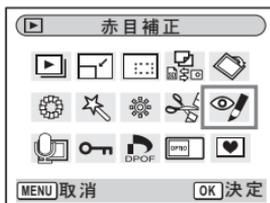
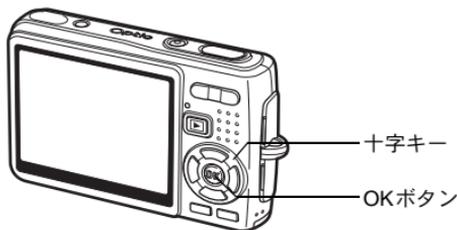
4　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、無条件に新規保存されます。

6　OKボタンを押す

赤目補正された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

- 動画やカメラ側で赤目画像と特定できなかった画像は「赤目補正」できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。
- 赤目補正できるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。

フレーム合成をする

撮影した静止画に、フレーム（飾り枠）を合成します。あらかじめ3種類のフレームが登録されています。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、フレーム合成する画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で♥（フレーム合成）を選ぶ

4　OKボタンを押す

フレームを合成する画面が表示されます。

5　十字キー（◀▶）で合成するフレームを選ぶ

6　OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は､「新規保存」だけが選択できます。

8 OKボタンを押す

フレームが合成された画像が、3Mの記録サイズで保存されます。

動画や2M以下のサイズの画像は「フレーム合成」をできません。手順4でエラーメッセージが表示されます。

新しく入手したフレームを登録する

手順5でグリーンボタンを押すと、フレーム登録画面に切り替わり、ホームページなどから入手したフレームを使用できます。内蔵メモリー内の3つのフレームと置き換えて使用できます。新しく入手したフレームを使用するには、あらかじめSDメモリーカードにコピーしておきます。

SDメモリーカード内のフレームを登録すると、内蔵メモリーに登録されているフレームと置き換わり、内蔵メモリー内のフレームは削除されます。

1 フレームを選択する画面で、置き換えたいフレームを選び、グリーンボタンを押す

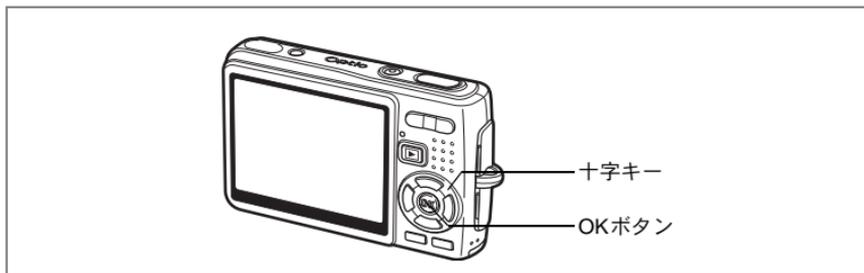
メッセージが表示された後、SDメモリーカード内の使用できるフレームが表示されます。

2 十字キー（◀▶）で登録するフレームを選び、OKボタンを押す

表示されているフレームの代わりに、選択したフレームが登録されます。

新しいフレームは、弊社ホームページの下記URLアドレスからダウンロードできます。

http://www.pentax.co.jp/japan/support/download/digital/frame_02.html

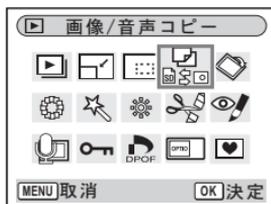
画像・音声をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声のファイルをコピーします。あらかじめカードを入れておかないと、この機能は選択できません。
内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合は、すべてのファイルが一括してコピーされます。SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合は、1ファイルごとに確認しながらコピーします。

1　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）を押して　（画像・音声コピー）を選ぶ

コピー画面が表示されます。ここでコピー方法を選択します。

3　OKボタンを押す

SDメモリーカードの挿入と取り出しは、必ず電源をオフにしてから行ってください。

内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

4　十字キー(▲▼)を押して「■ ➡ SD」を選びOKボタンを押す

すべてのファイルがSDメモリーカードにコピーされます。

SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

4　十字キー（▲▼）を押して「SD ➡ ■」を選びOKボタンを押す

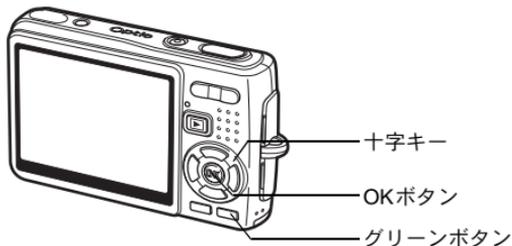
5　十字キー（◀▶）でコピーするファイルを選ぶ

6　OKボタンを押す

選んだファイルが内蔵メモリーにコピーされます。

- 音声付きの画像は、画像と同時に音声ファイルもコピーされます。
- SD メモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合、コピーするファイルは新しいファイル名に変更されます。

6 再生・消去・画像編集

カメラの設定をする

十字キー
OKボタン
グリーンボタン

起動画面を設定する

カメラの電源を入れたときの起動画面を設定します。

1　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で［OPTIO］（起動画面）を選ぶ

3　OKボタンを押す

起動画面の設定画面が表示されます。起動画面はUSER、オフを含め5種類の中から十字キー（◀▶）で選択できます。

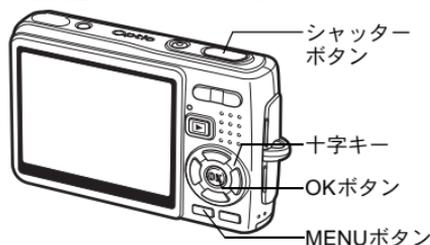
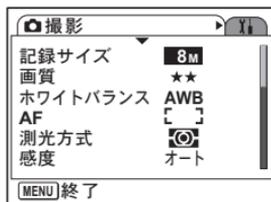
撮影した画像を起動画面に設定する（USER以外に設定する場合は手順5へ）

4　画面右上に「USER」と表示された画面でグリーンボタンを押し、十字キー（◀▶）で起動画面として表示する画面を選び、OKボタンを押す

すでに起動画面として設定済みの撮影画像を別の撮影画像に変更する場合、グリーンボタンを1回押すと設定済みの画像が消去され、もう1回押すと別の画像を選択することができます。

5　OKボタンを押す

再生できる状態になります。

- 設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SD メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットしても消去されません。
- ビデオ出力中は、起動画面を設定できません。

SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。SDメモリーカードが入っていない場合は、内蔵メモリーのデータが消去されます。

注意
- SDメモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

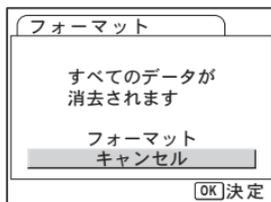
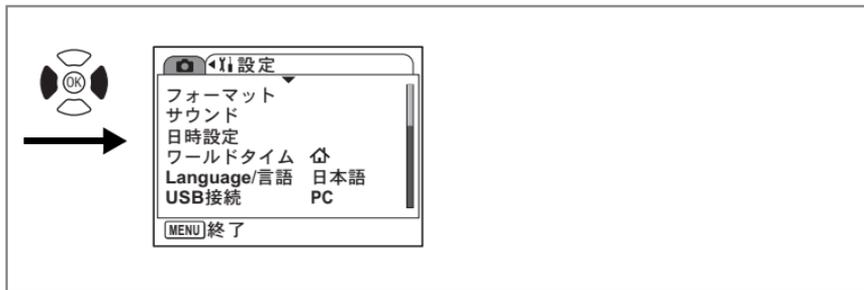
1 「設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

フォーマット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「フォーマット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影できる状態になります。

再生モードからフォーマットを行った場合、フォーマットが終わると再生モードに戻るので、「画像・音声がありません」と表示されます。

サウンドの設定を変更する

録音した音声や操作音（起動音、シャッター音、操作音など）の音量を変更します。また操作音の音の種類を変更することもできます。

1 「設定」メニューの「サウンド」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

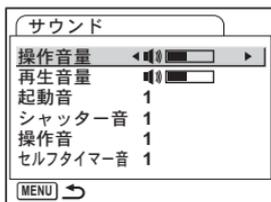
サウンド画面が表示されます。

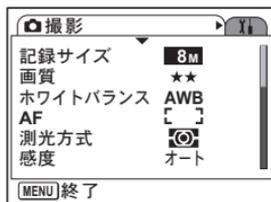
音量を変更する

3 十字キー（◀▶）を押して操作音量を切り替える

4 十字キー（▼）を押して「再生音量」を選ぶ

5 十字キー（◀▶）を押して再生音量を切り替える

6 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

「設定」メニューの呼び出しかた

音の種類を変更する

3 十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選ぶ

4 十字キー（▶）を押す

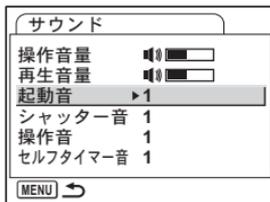
ポップアップメニューが表示されます。

サウンド
操作音量
再生音量
起動音 ▸1
シャッター音 1
操作音 1
セルフタイマー音 1
MENU

5 十字キー（▲▼）で「1」「2」「3」「オフ」「USER」のいずれかを選ぶ

6 「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」も同様に切り替える

7 シャッターボタンを半押しする

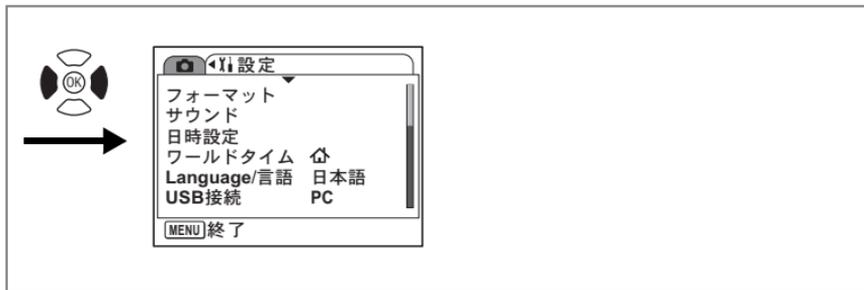
撮影できる状態になります。

サウンドの設定は、電源をオフにしても保持されます。

USER音を設定する

任意の音声の冒頭の2秒間をUSER音として起動音やシャッター音に使用できます。使用する音声はカメラで録音しておきます。（☞p.97）

1 前項の手順5で「USER」を選ぶ

2 OKボタンを押す

カメラに「USER」音として設定できる音声が記録されている場合、再生画面が表示されます。USER設定されている音声には「USER」と表示されます。

3 十字キー（◀▶）でファイルを選ぶ

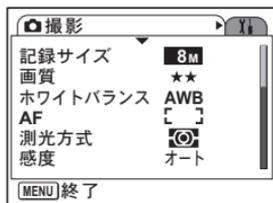
十字キー（▲）冒頭に2秒間を再生
十字キー（▼）再生終了

4 OKボタンを押す

選んだ音声が、起動音やシャッター音の「USER」音として設定されます。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

シャッターボタン
十字キー
OKボタン
MENUボタン
MENU

📷撮影
記録サイズ 8M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度 オート
MENU 終了

日時を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示スタイルを設定します。「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選べます。

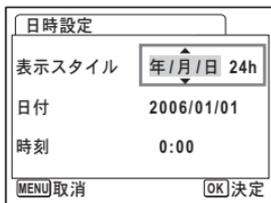
1 「🔧設定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

日時設定画面が表示されます。

3 十字キー（▶）を押す

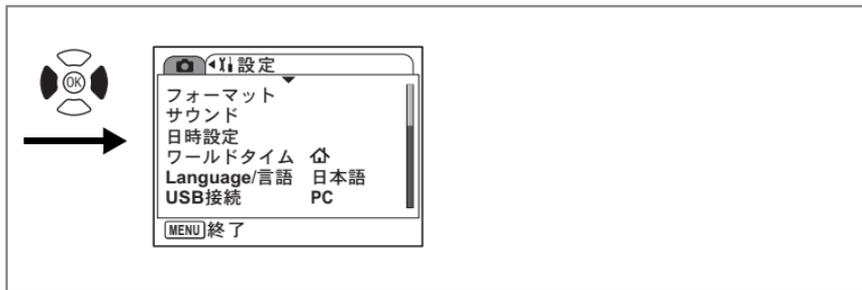
選択枠が「年/月/日」に移動します。

4 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

5 十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

6 十字キー（▲▼）を押して、「24h（24時間表示）」または「12h（12時間表示）」を設定する

7 十字キー（▶）を押す

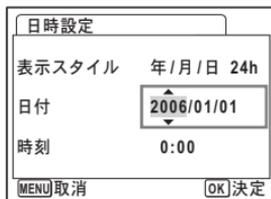
選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

8 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

9 十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

10 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

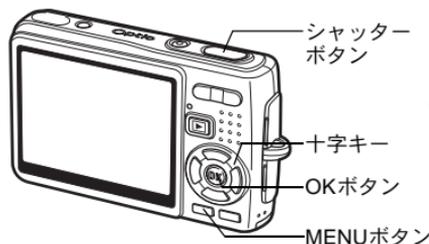
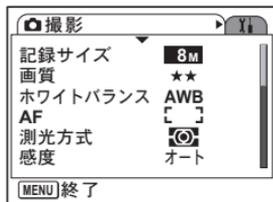
同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻欄を設定します。
手順6で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

11 OKボタンを押す

設定が確定されます。

12 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

7 設定

「設定」メニューの呼び出しかた

ワールドタイムを設定する

「初期設定をする（表示言語と日時の設定）」（p.26）で設定した日時は、「ホームタイム」（通常使用する国・地域の日時）として設定されます。「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用する際、液晶モニターに設定した国・地域の日時を表示できます。

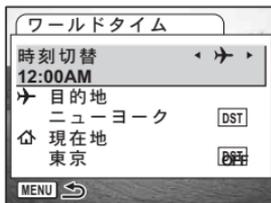
1　「設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

「ワールドタイム」画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）で ✈（目的地）／⌂（現在地）を切り替える

✈ ：目的地で選択した都市の時刻を表示

⌂ ：現在地で選択した都市の時刻を表示

4　十字キー（▼）で「目的地」を選ぶ

5　十字キー（▶）を押す

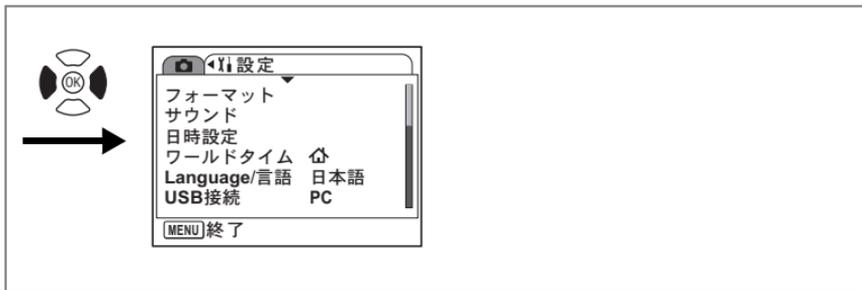
「目的地」画面が表示されます。現在設定されている都市が地図上で点滅表示されます。

6　十字キー（◀▶）で、目的地都市名を選ぶ

選択した都市の位置、現在地との時差が表示されます。

7　十字キー（▼）で「夏時間」を選択する

8　十字キー（◀▶）で、☑（オン）／□（オフ）を切り替える

目的地が夏時間を採用している場合は、☑（オン）にします。

9　OKボタンを押す

ワールドタイムの設定が保存されます。

10　十字キー（▼）で「現在地」を選ぶ

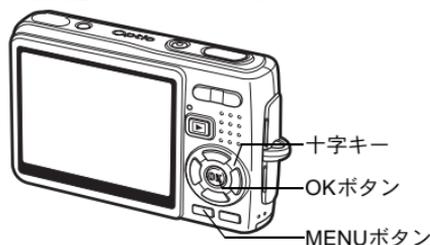
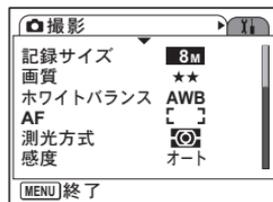
手順5～9と同様に設定します。

11　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

「⚙設定」メニューの呼び出しかた

十字キー
OKボタン
MENUボタン
MENU

撮影
記録サイズ 8M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度 オート
MENU 終了

表示言語を変更する

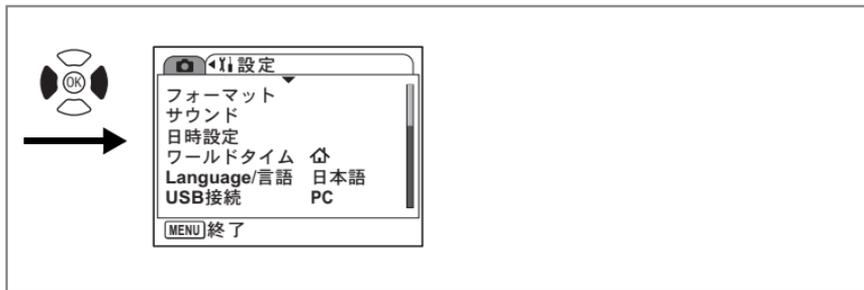
メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。
日本語／英語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／ポルトガル語／イタリア語／スウェーデン語／オランダ語／ロシア語／タイ語／韓国語／中国語（繁体字／簡体字）の13言語に対応しています。

1 **「⚙設定」メニューの「Language/言語」を選ぶ**

2 **十字キー（▶）を押す**

3 **十字キー（▲▼◀▶）で言語を切り替える**

4 **OKボタンを押す**

5 **MENUボタンを押す**

USB接続モードを変更する

USBケーブルの接続先がプリンター（PictBridge）か、パソコンかによって、USB接続モードを切り替えます。

1 「設定」メニューの「USB接続」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「PC」「PictBridge」を切り替える

4 再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

ビデオ出力方式を選択する

テレビをモニターにして撮影や再生をするときの出力形式を、NTSC方式とPAL方式から選択します。

1 「設定」メニューの「ビデオ出力」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

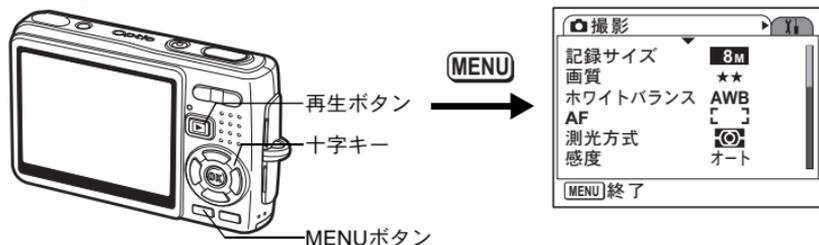
ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「NTSC」「PAL」を切り替える

モニターするテレビの出力方式に合わせて選択します。

4 再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

日本国内では、NTSC方式です。

液晶モニターの明るさを調節する

液晶モニターの明るさを7段階で調節できます。

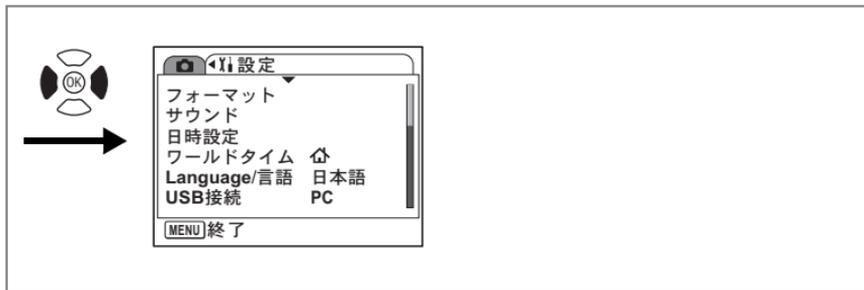
1 「設定」メニューの「LCDの明るさ」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）で明るさを切り替える

バーのスライダーを左に移動すると暗くなり、右に移動すると明るくなります。

3 再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

7 設定

節電機能を使う（エコモード）

一定時間操作しないときに、液晶モニターを自動的に暗くするように設定することで、バッテリーの消耗を軽減します。節電機能が働き、液晶モニターが暗くなった場合は、いずれかのボタンを操作すると元の明るさに戻ります。

1　「設定」メニューの「エコモード」を選ぶ

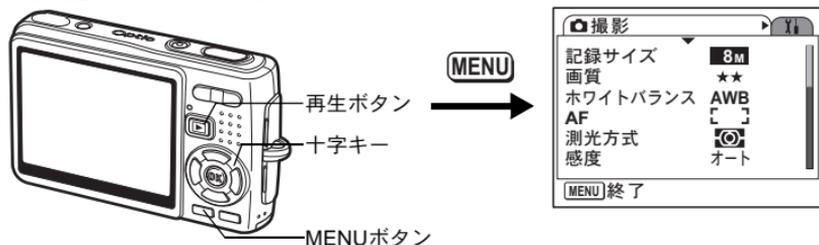
2　十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「2分」「1分」「30秒」「15秒」「5秒」「オフ」のいずれかを選ぶ

4　再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

以下の場合は、エコモードにはなりません。
- 再生モード中
- USB接続中
- 動画撮影時

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 「設定」メニューの「オートパワーオフ」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「5分」「3分」「オフ」を切り替える

4 ▶再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

USB接続しているときは、オートパワーオフは働きません。

ガイド表示を設定する

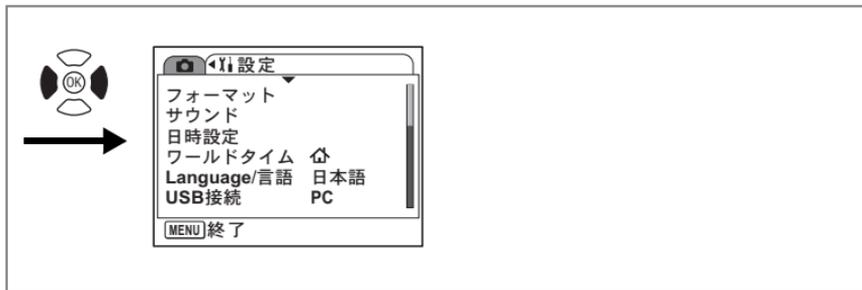
カメラを撮影モードで起動した直後や、他のモードから撮影モードに移行した直後に、現在設定中のモードやグリーンボタンに割り当てられている機能などを表示することができます。

1 「設定」メニューの「ガイド表示」を選ぶ

2 十字キー（◀▶）を押して☑（オン）／□（オフ）を切り替える

3 ▶再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

設定
フォーマット
サウンド
日時設定
ワールドタイム
Language/言語　日本語
USB接続　PC
MENU 終了

設定をリセットする

日時設定、ワールドタイム、Language/言語、ビデオ出力以外の設定内容を初期設定に戻します。

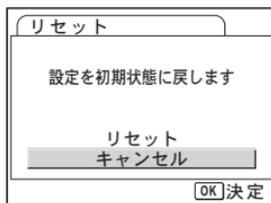
1　「設定」メニューの「リセット」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

リセット画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4　OKボタンを押す

カメラが初期設定に戻り、撮影または再生できる状態になります。

都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市名です。

地域	都市名
北米	ホノルル
	アンカレジ
	バンクーバー
	サンフランシスコ
	ロサンゼルス
	カルガリー
	デンバー
	シカゴ
	マイアミ
	トロント
	ニューヨーク
	ハリファックス
中南米	メキシコシティ
	リマ
	サンティアゴ
	カラカス
	ブエノスアイレス
	サンパウロ
	リオデジャネイロ
ヨーロッパ	リスボン
	マドリード
	ロンドン
	パリ
	アムステルダム
	ミラノ
	ローマ
	ベルリン
	ストックホルム
	アテネ
	ヘルシンキ
	モスクワ
アフリカ・西アジア	ダカール
	アルジェ
	ヨハネスブルグ
	イスタンブール
	カイロ

地域	都市名
アフリカ・西アジア	エルサレム
	ナイロビ
	ジッダ
	テヘラン
	ドバイ
	カラチ
	カブール
	マーレ
	デリー
	コロンボ
	カトマンズ
	ダッカ
東アジア	ヤンゴン
	バンコク
	クアラルンプール
	ビエンチャン
	シンガポール
	プノンペン
	ホーチミン
	ジャカルタ
	香港
	北京
	上海
	マニラ
	台北
	ソウル
	東京
	グアム
オセアニア	パース
	アデレード
	シドニー
	ヌーメア
	ウェリントン
	オークランド
	パゴパゴ

初期設定一覧

工場出荷時の設定を表に示します。

ラストメモリ設定

する　：カメラの電源をオフにしても現在の設定（ラストメモリ）が保存される。
しない：カメラの電源をオフにすると初期設定に戻る。
※　　：「する」／「しない」はモードメモリ（☞p.94）の設定による。

リセット設定

する　：リセット（☞p.155）で初期設定に戻る。
しない：リセットしても設定が保存される。

●「撮影」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
記録サイズ		8M	する	する	p.72
画質		★★	する	する	p.74
ホワイトバランス		**AWB**（オート）	※	する	p.75
AF	AFエリア	[ ]（マルチ）	する	する	p.77
	フォーカスリミット	オン	する	する	p.78
	AF補助光	オン	する	する	p.78
測光方式		（分割）	※	する	p.79
感度		オート	※	する	p.80
露出補正		±0.0	※	する	p.82
動画	記録サイズ	640	する	する	p.83
	画質	★★★	する	する	p.84
	動画手ぶれ補正	オン	する	する	p.85
手ぶれ補正		オン	する	する	p.86
デジタルズーム		オン	※	する	p.66
クイックビュー		1秒	する	する	p.87

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
モードメモリ	ストロボ	オン	—	する	p.70
	ドライブモード	オフ	—	する	p.61～64
	フォーカスモード	オフ	—	する	p.67
	ズーム位置	オフ	—	する	p.65
	MF位置	オフ	—	する	p.68
	ホワイトバランス	オフ	—	する	p.75
	測光方式	オフ	—	する	p.79
	感度	オフ	—	する	p.80
	露出補正	オフ	—	する	p.82
	デジタルズーム	オン	—	する	p.66
	DISPLAY	オフ	—	する	p.47
	ファイルNo.	オン	—	する	—
グリーンボタン		手ぶれ補正	する	する	p.88
シャープネス		標準	する	する	p.91
彩度		標準	する	する	p.92
コントラスト		標準	する	する	p.93

●「設定」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
サウンド	操作音量	3	する	する	p.143
	再生音量	3	する	する	
	起動音	1	する	する	
	シャッター音	1	する	する	
	操作音	1	する	する	
	セルフタイマー音	1	する	する	
日時設定	表示スタイル	初期設定による	する	しない	p.146
ワールドタイム	切替時刻	現在地	する	しない	p.148
	目的地（都市）	現在地と同じ	する	しない	
	目的地（夏時間）	現在地と同じ	する	しない	
	現在地（都市）	初期設定による	する	しない	
	現在地（夏時間）	初期設定による	する	しない	
Language/言語		初期設定による	する	しない	p.26
USB接続		PC	する	する	p.151
ビデオ出力		初期設定による	する	しない	p.151
LCD明るさ		4	する	する	p.152
エコモード		5秒	する	する	p.153

名称	初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
クイック拡大	オフ	する	する	p.103
クイック消去	オフ	する	する	p.110
オートパワーオフ	3分	する	する	p.154
ガイド表示	オン	する	する	p.154
リセット	キャンセル	しない	する	p.155

● **再生モードパレット項目**

名称			初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
	スライドショウ	表示間隔	3秒	する	する	p.107
		画面効果	ワイプ	する	する	p.107
		効果音	オン	する	する	p.107
	リサイズ		撮影画像による	しない	—	p.124
	トリミング		—	しない	—	p.126
	画像・音声コピー		キャンセル	しない	—	p.139
	画像回転		正位置	しない	しない	p.127
	カラーフィルタ		白黒	しない	—	p.128
	デジタルフィルタ		ソフト	しない	—	p.130
	明るさフィルタ		0	しない	—	p.132
	動画編集		静止画保存	しない	—	p.133
	赤目補正		—	—	—	p.136
	ボイスメモ		—	—	—	p.100
	プロテクト		1画像・音声	する	しない	p.113
DPOF	DPOF		1画像	する	しない	p.117
OPTIO	起動画面設定		撮影画像による	する	する	p.141
	フレーム合成		—	する	する	p.137

● 撮影モードと各機能について

○：使用できます　×：使用できません

		ストロボ	マクロ、パンフォーカス、無限遠、マニュアルフォーカス	セルフタイマー	連続撮影	リモコン	デジタルズーム	LCDオフ
撮影モード	オートピクチャー	○	○	○	○	○	○	○
	プログラム	○	○	○	○	○	○	○
	夜景	○	○	○	○	○	○	○
	風景	○	○	○	○	○	○	○
	花	○	○	○	○	○	○	○
	ポートレート	○	○	○	○	○	○	○
	キャンドルライト	○	○	○	○	○	○	○
	サーフ＆スノー	○	○	○	○	○	○	○
	スポーツ	○	○	○	○	○	○	○
	ペット	○	○	○	○	○	○	○
	テキスト	○	○	○	○	○	○	○
	料理	○	○	○	○	○	○	○
	フレーム合成（＊1）	○	○	○	×	○	○	×
	動画	×（＊2）	○	○	×	×	×（＊3）	○
	ボイスレコーディング	–	–	–	–	–	–	○
その他	デジタルズーム時	○	○	○	○	○	–	×（＊4）
	マクロモード時	○	–	○	○	○	○	○
	無限遠モード時	×（＊2）	–	○	○	○	○	○
	MF マニュアルフォーカス時	○	–	○	○	○	○	×
	連続撮影時	×（＊2）	○	–	–	–	○	○

＊1：このモードに入ったときにLCDがオフであった場合、標準情報に移行します。
＊2：ストロボが発光禁止になります。
＊3：動画手ぶれ補正がオフのときのみ使用できます。
＊4：LCDをオフにするとデジタルズームは解除されます。

● 撮影モードと各種機能の自動設定について

撮影モード		ストロボモード	記録サイズ	ホワイトバランス	AFエリア	フォーカスリミット	AF補助光	測光方式	感度	シャープネス	彩度	コントラスト
AUTO PICT	オートピクチャー			⑤				⑩		⑬	⑬	⑬
P	プログラム											
	夜景											
	動画	①			⑥	⑧	⑧	⑪	⑫			
	ボイスレコーディング											
	風景			⑤			⑨			⑬	⑬	⑬
	花			⑤		⑨				⑬	⑬	⑬
	ポートレート			⑤						⑬	⑬	⑬
	キャンドルライト	②	③	⑤						⑬	⑬	⑬
	サーフ＆スノー			⑤						⑬	⑬	⑬
	スポーツ	②		⑤	⑦	⑨				⑬	⑬	⑬
	ペット	②		⑤	⑦	⑨				⑬	⑬	⑬
A	テキスト			⑤		⑨				⑬	⑬	⑬
	料理			⑤		⑨				⑬	⑬	⑬
	フレーム合成		④									

空白部分は、設定の変更を行いません。
①：発光禁止に固定
②：発光禁止に設定（設定は変更可能です）
③：4M（2304×1728）に固定
④：3M（2048×1536）に固定
⑤：AWBに固定
⑥：スポットに固定
⑦：自動追尾AFに設定
⑧：オフに固定
⑨：オフに設定（設定は変更可能です）
⑩：分割測光に固定
⑪：中央重点測光に固定
⑫：オートに固定
⑬：標準に固定

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプタキット K-AC8J

USBケーブル I-USB17（※）

AVケーブル I-AVC7（※）

カメラケース O-CC35

カメラケース O-CC32

ストラップ O-ST8

ストラップ O-ST20（※）

レザーストラップ O-ST24

スポーツストラップ O-ST30

リモートコントロールE（ズーム対応品）

リモートコントロールF

充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8（※）

バッテリー充電スタンド D-BC42（※）

バッテリー充電器キット K-BC8J

（※）の製品は同梱品と同じものです。

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

手ぶれ補正がオフです	「📷撮影」メニューの「手ぶれ補正」がオフの状態で、手ぶれ補正プレビューボタンを押したときに表示されます。「📷撮影」メニューで「手ぶれ補正」をオンにしてください。(p.86)
圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質／サイズを変えて、もう一度撮影してください。
画像／音声がありません	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに再生できる画像が保存されていません。
カードの空き容量がありません	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。 新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.22, 109) 画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。(p.124)
内蔵メモリーの空き容量がありません	
画像／音声が作成できません	カメラの仕様により、大容量のSDメモリーカードをセットしている場合でも5000枚までしか撮影できません。続けて撮影するためには、SDメモリーカード内の画像を消去してください。
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。(p.142)
カードがロックされています	ロックされたSDメモリーカードが装着されています。メニュー操作、モード切り替えだけができます。
記録中です	画像を記録中に再生モードに切り替えたとき、またはプロテクト、DPOF設定記録中に表示されます。画像または設定の記録終了後に表示が消えます。
処理中です	画像をSDメモリーカードあるいは内蔵メモリーに記録しています。
	画像のプロテクト設定やDPOF設定を変更しています。
	動画を記録しています。
	デジタルフィルタ処理中や動画を編集中、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマット中に表示されます。
消去中です	画像や音声を消去中に表示されます。
この画像／音声を再生できません	このカメラでは再生できない画像や音声を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
電池容量がなくなりました	バッテリー残量がありません。バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。(p.14)

フォルダが作成できません	最大のフォルダNo.とファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットしてください。（p.22, 142）
プロテクトされています	プロテクトされた画像や音声を消去しようとした場合に表示されます。
この画像／音声を処理できません	画像のリサイズ設定、トリミング設定、プロテクト設定、DPOF設定や動画編集、デジタルフィルタ使用時に処理できない画像を選択したときに表示されます。
処理できる画像がありません	再生モードパレットで処理できるファイルが存在しません。

PictBridge機能を使用する場合に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

用紙がありません	接続したプリンターの用紙がない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンターのインクがない場合に表示されます。
プリンターエラーです	接続したプリンターでエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンターからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンターで紙詰まりが起こった場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室内のシールに合わせて電池を入れなおしてください。(p.14)
	電池の残量がない	新しい電池をセットしてください。または、ACアダプタキットを使用してください。
液晶モニターに何も表示されない	液晶モニターがオフにセットされている	OK／ディスプレイボタンを押すと、液晶モニターがオンになります。
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニターが表示されていても、確認しづらいことがあります。
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボアイコンが液晶モニター上で赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了するとストロボアイコンが赤色に点灯します。
	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.22, 109)
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
	SDメモリーカードに記録された画像、動画、音声のファイルが5000枚に達した	SDメモリーカードを交換するか、不要な画像を消去してください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。モードにセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。(p.47, 56)

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。いったん撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。あるいはマニュアルフォーカスを使用してください。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニター中央の〔　　〕（AFエリア）に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、いったん撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを（マクロ）または（スーパーマクロ）にセットしてください。（p.67）
	フォーカスモードが（マクロ）または（スーパーマクロ）になっている	フォーカスモードが（マクロ）または（スーパーマクロ）にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	オートまたは に設定してください。（p.70）
	撮影モードが にセットされているか、連続撮影、（無限遠モード）、（キャンドルライトモード）、（スポーツモード）、（ペットモード）に設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。（キャンドルライトモード）、（スポーツモード）、（ペットモード）は、ストロボの発光禁止を解除できます。
パソコンとのUSB接続がうまくいかない	カメラのUSB接続モードが「PictBridge」になっている	USB接続モードを「PC」に切り替えてください。（p.151）
プリンターとのUSB接続がうまくいかない	カメラのUSB接続モードが「PC」になっている	USB接続モードを「PictBridge」に切り替えてください。（p.151）

静電気などの影響により、まれにカメラが正しく動作しなくなることがあります。このような場合には、いったん電池を入れなおしてください。カメラが正常に動作すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

主な仕様

カメラ本体

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	800万画素	
撮像素子	総画素数832万画素 原色フィルター／インターライントランスファー 1/1.8型CCD	
記録画素数	静止画	8M (3264×2448)、5M (2592×1944)、4M (2304×1728)、3M (2048×1536)、2M (1600×1200)、1024 (1024×768)、640 (640×480)
	動画	640 (640×480)、320（320×240）
感度	オート、マニュアル（50/100/200/400（/800キャンドルライトモード）：標準出力感度）	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応、PRINT Image Matching III対応
	動画	AVI（MPEG-4準拠DivX）、約30フレーム／秒、音声あり、動画手ぶれ補正
	音声	WAV（PCM方式）、モノラル、最大録音可能時間　約2時間13分21秒（128MBのSDメモリーカード使用時）
画質	S.ファイン、ファイン、エコノミー	
記録媒体	内蔵メモリー（約24MB）、SDメモリーカード	

撮影枚数と時間（128MBのSDメモリーカードを使用した場合）
静止画

記録サイズ ＼ 画質	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	音声
8M	44枚	64枚	89枚	2時間 13分21秒
5M	70枚	102枚	142枚	
4M	89枚	129枚	180枚	
3M	107枚	155枚	215枚	
2M	150枚	217枚	302枚	
1024	274枚	396枚	549枚	
640	504枚	728枚	1009枚	

動画

記録サイズ ＼ 画質	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー
640（640×480）	5分23秒	6分25秒	7分22秒
320（320×240）	14分23秒	16分6秒	17分32秒

＊ 撮影枚数は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影枚数・撮影時間・録音時間は異なることがあります。

8 付録

ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル	
レンズ	焦点距離	7.9mm～23.7mm （35mmフィルム換算：38～114mm相当）
	最大F値	F2.8～F5.4
	レンズ構成	5群7枚（非球面レンズ3枚使用）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	約65.6mm×48.6mmを画面いっぱいに撮影可能（スーパーマクロモード）
	レンズバリアー	電動式
デジタルズーム	撮影時	最大約4倍（光学3倍ズームと合わせ、最大約12倍ズーム相当のズーム倍率）
液晶モニター	2.5型TFTカラー LCD、約23.2万画素（バックライト付）、微反射タイプ、視野率約100%	
再生機能	1コマ、インデックス(9画面)、拡大(最大8倍まで、スクロール可)、動画再生、音声再生、ヒストグラム表示、選択消去、 再生モードパレット（スライドショウ、リサイズ、トリミング、画像・音声コピー、画像回転表示、カラーフィルタ、デジタルフィルタ、明るさフィルタ、動画編集、赤目補正、ボイスメモ、プロテクト、DPOF、起動画面、フレーム合成）	
	カラーフィルタ	白黒、セピア、カラーフィルタ（バー表示、8色）、白黒＋赤、白黒＋緑、白黒＋青
	デジタルフィルタ	ソフト、イラスト、特殊効果1、特殊効果2、スリム
	明るさフィルタ	明るさフィルタ
フォーカス	オートフォーカス方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式、AF補助光、5点マルチ／スポット切替、フォーカスロック（シャッターボタン半押しによる）、自動追尾AFが可能
	静止画の撮影範囲（レンズ前面から）	ノーマル：約0.35m～∞（ズーム全域） マクロ：約0.12m～約0.4m（ワイド端） スーパーマクロ：約0.06m～約0.15m（ワイド端） 無限遠：∞（ズーム全域） パンフォーカス：約2.3m～∞（ワイド端）、約9.3m～∞（テレ端） マニュアルフォーカス：約0.06m～∞（ワイド端）、約0.35m～∞（テレ端）
	動画の撮影範囲（レンズ前面から）	ノーマル：約0.12m～∞（ワイド端）、約0.35m～∞（テレ端） マクロ：約0.12m～約0.4m（ワイド端） スーパーマクロ：約0.06m～約0.15m（ワイド端） 無限遠：∞（ズーム全域） パンフォーカス：約0.9m～∞（ワイド端）、約3.7m～∞（テレ端） マニュアルフォーカス：約0.06m～∞（ワイド端）、約0.35m～∞（テレ端）
露出機構	測光方式	撮像素子によるTTL測光（分割、中央部重点、スポット）
	撮影モード	モードパレット（オートピクチャー、プログラム、夜景、動画、ボイスレコーディング、風景、花、ポートレート、スポーツ、サーフ&スノー、キャンドルライト、料理、ペット、テキスト、フレーム合成）
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
	動画	撮影時間約1秒～メモリーカード容量いっぱいまで
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/2000秒～約4秒

ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減 (夜景モード時のみ低速シンクロ対応)、ソフト
	撮影範囲	ワイド　約0.06m～約5.0m(標準出力感度オート時) テレ　　約0.35m～約2.5m(標準出力感度オート時)
ドライブモード	1コマ撮影、連続撮影、10秒セルフタイマー撮影、2秒セルフタイマー撮影、3秒後リモコン撮影、即リモコン撮影	
セルフタイマー	電子制御式、作動時間：約10秒、約2秒	
時計機能	ワールドタイム設定、世界71都市に対応（28タイムゾーン）	
電源	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8、ACアダプタキット（別売）	
バッテリー寿命	約150枚	(液晶モニターオン、ストロボ使用率50％、23℃、充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8を使用した場合) ※撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。
入出力ポート	USB／ビデオ端子（PC通信方式USB2.0・ハイスピード対応)、外部電源端子	
ビデオ出力方式	NTSC／PAL	
大きさ	88.5（幅）×54.5（高）×23（厚）mm（操作部材および小突起部を除く）	
質量	125g（電池、SDメモリーカード含まず）	
撮影時質量	145g（電池、SDメモリーカード含む）	
主な付属品	充電式リチウムイオンバッテリー、バッテリー充電スタンド、ACコード、USBケーブル、ソフトウェア（CD-ROM)、AVケーブル、ストラップ、使用説明書	

電源

	バッテリー充電スタンドD-BC42	ACアダプタD-AC8（別売）
定格入力	AC100-240V（50Hz／60Hz）	AC100-240V（50Hz／60Hz）
定格出力	DC4.2V／630mA	DC4.5V／2A
大きさ	105×75.5×29.5（mm）	90×43.5×26.5（mm）
質量	92g	122g

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後1年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。［保証期間中のみ有効］

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。

電話受付

0120-737-919（フリーダイヤル）
03-3975-4314（携帯・PHS用）
受付時間：　午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く）

インターネット受付

URL：https://www.pentax.co.jp/japan/support/

FAX受付

FAX:03-3975-4318
インターネット受付のURLアドレスからFAX申込書をダウンロードしてお使いください。

[宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ]
ペンタックスサービス(株)東日本修理センター　03-3975-4341(代)
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2
ペンタックス（株）流通センター内
営業時間：　午前9:00 ～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス(株)西日本修理センター　06-6271-7996(代)
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間：　午前9:00 ～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

索引

8 付録